

2016年9月期 決算説明会

シミックホールディングス株式会社
2016年11月11日



2016年9月期 決算概要

(2015年10月1日～2016年9月30日)

取締役専務執行役員CFO

望月 渉

事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外。※印は関連会社。

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2016年9月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援及び分析化学サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) シミック・シフトゼロ(株) シミックファーマサイエンス(株) CMIC, Inc. CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC (Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd.
CMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製造支援に係る業務	シミックCMO(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジックス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援及び医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) (株)シミックBS エムディエス・シーエムジー(株) ※
ヘルスケア事業	SMO業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPD事業	診断薬やオーファンドラッグなどの開発及び販売に係る業務	シミックホールディングス(株) (株)オーファンパシフィック

- 2015年10月1日付で(株)応用医学研究所は、(株)JCLバイオアッセイを吸収合併し、商号をシミックファーマサイエンス(株)に変更しました。
- 2016年1月15日付でシミック・シフトゼロ(株)が設立され、当社の子会社となりました。
- 2016年4月1日付でシミックファーマサイエンス(株)は(株)シミックバイオリサーチセンターを、シミックCMO(株)はシミックCMO足利(株)を吸収合併しました。
- 2016年10月1日付で(株)シミックBSは商号をシミックキャリア(株)に変更し、セグメントをCRO事業に変更いたします。
- 2016年10月1日付でCMO事業はCDMO事業に、IPD事業をIPM事業に、セグメント名称を変更いたします。

Project Phoenix ～収益を伴った成長を実現するために～

- ▶ CMO事業、SMO業務黒字化達成
- ▶ オンコロジー領域の新薬開発からマーケティングまで総合支援体制構築
- ▶ 非臨床分野のトータルソリューション提供可能な体制構築
- ▶ 再生・細胞医療分野の開発支援体制強化
- ▶ CDMOにむけた国内CMO事業再編と戦略的設備投資を実施
- ▶ CSO「シンジケートセールスフォース」等のコマーシャル・ソリューションを開始
- ▶ 体外診断用医薬品「L-FABP」高感度キットおよびPOC*簡易検査キット新製品開発
- ▶ オーフアンドラッグ事業黒字化に向けた売上拡大

*Point of Care

連結損益計算書 (要約)

	2015/9		2016/9		増減額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	55,904	100.0	62,039	100.0	6,134
営業利益	1,411	2.5	3,363	5.4	1,951
経常利益	970	1.7	2,989	4.8	2,018
親会社株主に帰属 する当期純利益	△542	△1.0	878	1.4	1,421
1株当たり 当期純利益	△29円57銭		47円00銭		

セグメント別売上高および営業利益

		2015/9 金額 (百万円)	2016/9 金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	27,471	29,330	1,858	6.8
	営業利益	5,092	4,689	△402	△7.9
C M O 事業	売上高	13,810	14,167	356	2.6
	営業利益	△325	305	630	—
C S O 事業	売上高	8,875	9,712	836	9.4
	営業利益	716	905	188	26.3
ヘルスケア事業	売上高	5,640	6,895	1,255	22.3
	営業利益	△1,188	172	1,360	—
I P D 事業	売上高	762	2,643	1,881	246.8
	営業利益	△356	△177	178	—
調 整 額	売上高	△656	△710	△53	—
	営業利益	△2,526	△2,531	△5	—
合 計	売上高	55,904	62,039	6,134	11.0
	営業利益	1,411	3,363	1,951	138.2

受注高・受注残高

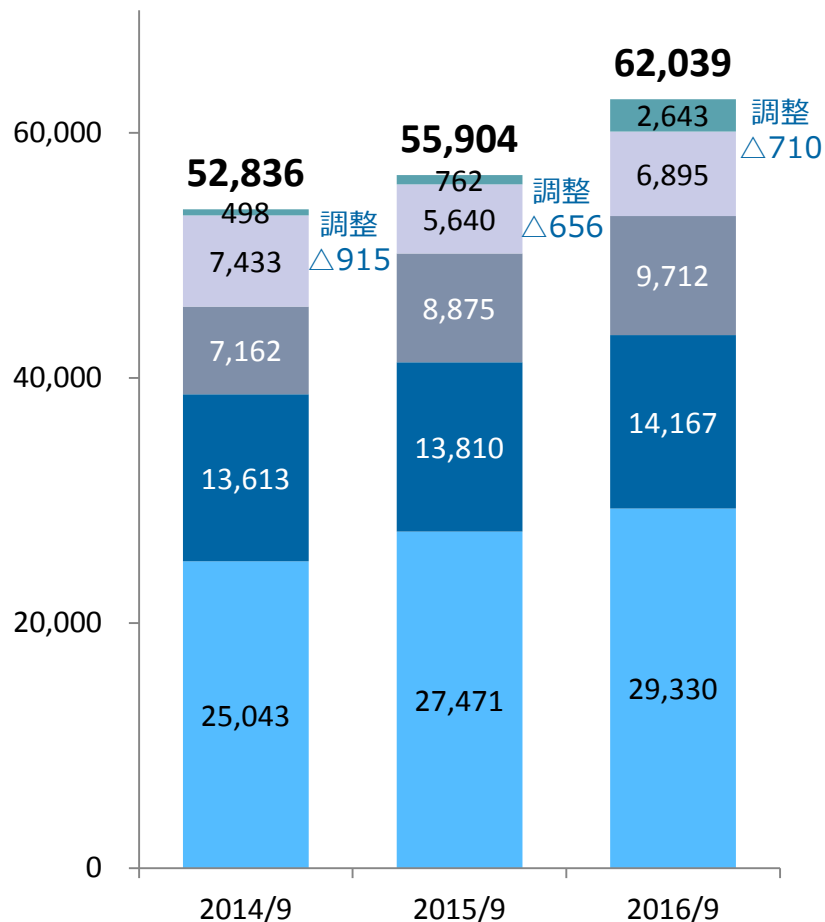
	2015/9		2016/9			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	31,587	42,430	31,764	0.6	44,996	6.0
C M O 事業	13,350	3,240	14,179	6.2	3,289	1.5
C S O 事業	10,174	7,247	7,969	△21.7	5,930	△18.2
ヘルスケア事業	6,229	8,908	7,415	19.0	9,490	6.5
I P D 事業	905	327	2,517	177.9	254	△22.3
合 計	62,247	62,153	63,846	2.6	63,961	2.9

- ・CSO事業の新規受注の遅れはあるが、足元は回復傾向。
- ・2015/9のCRO事業の受注高には、2015/上期に連結子会社となったJCLバイオアッセイ（現シミックファーマサイエンス）、CMIC, Inc.の2社の2015/3末の受注残高1,959百万円を含む。
- ・2016/9のIPD事業の受注高には、アステラス製薬から製造販売承認の承継を受けたオーファンドラッグ等の受注を含む。
- ・CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。

連結売上高および営業利益の推移

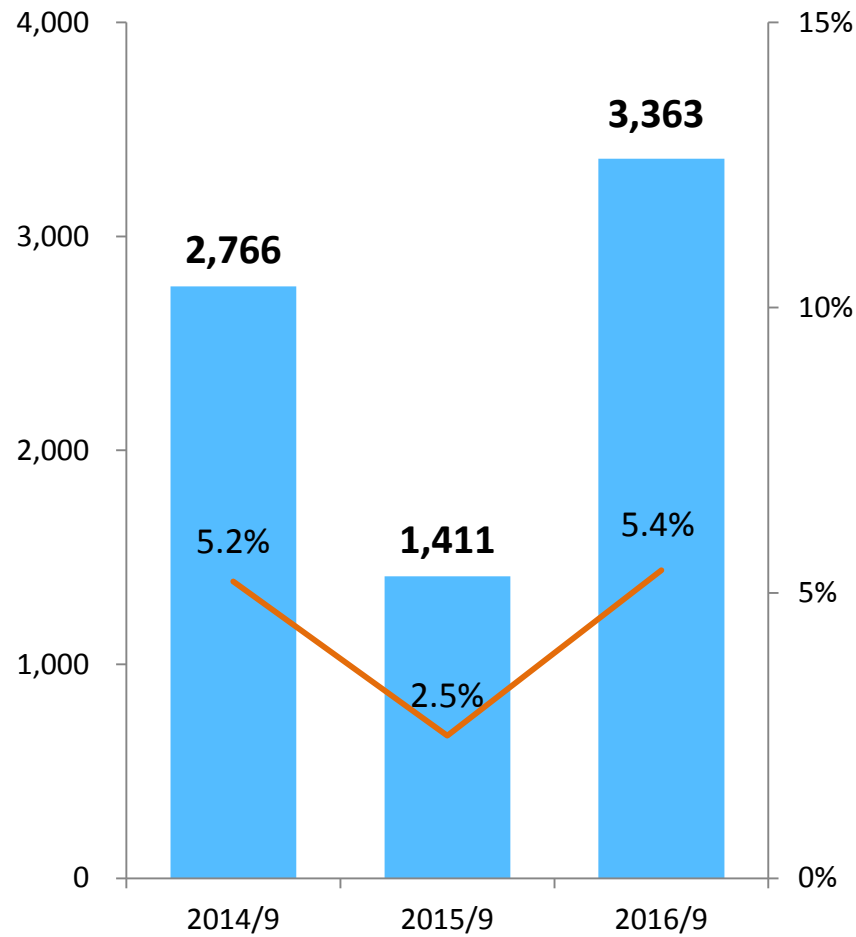
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

(百万円)



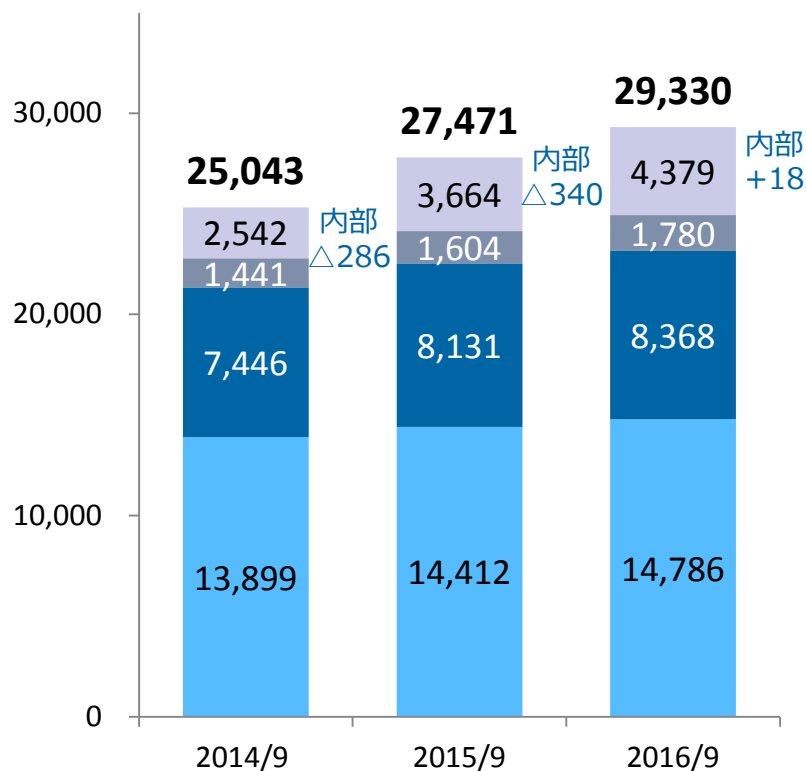
■ CRO事業 ■ CMO事業 ■ CSO事業 ■ ヘルスケア事業 ■ IPD事業

■ 営業利益 ■ 営業利益率

医薬品開発支援（CRO）事業

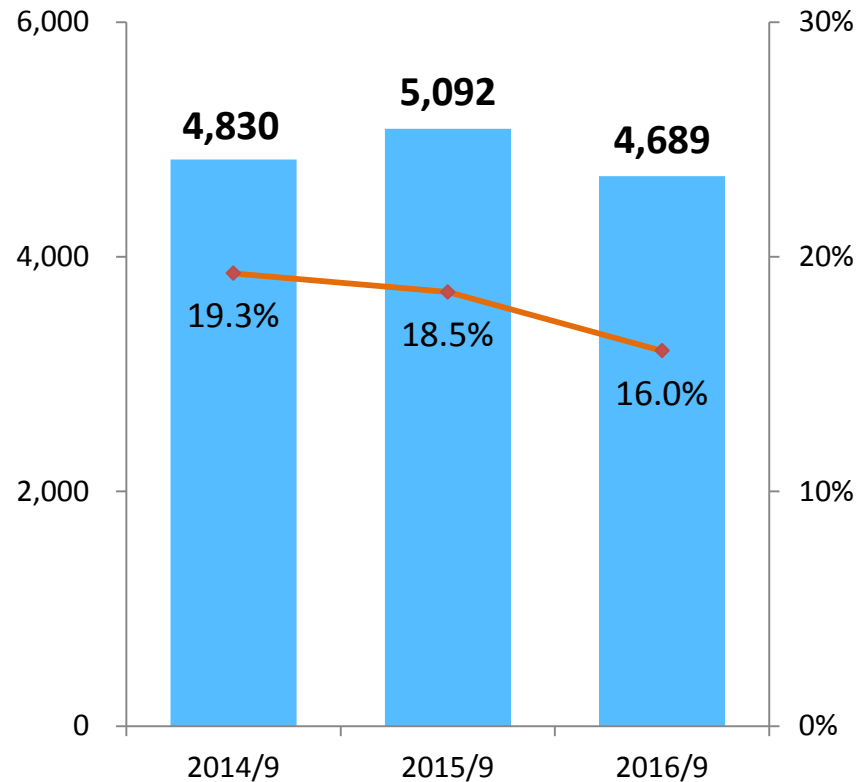
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

(百万円)



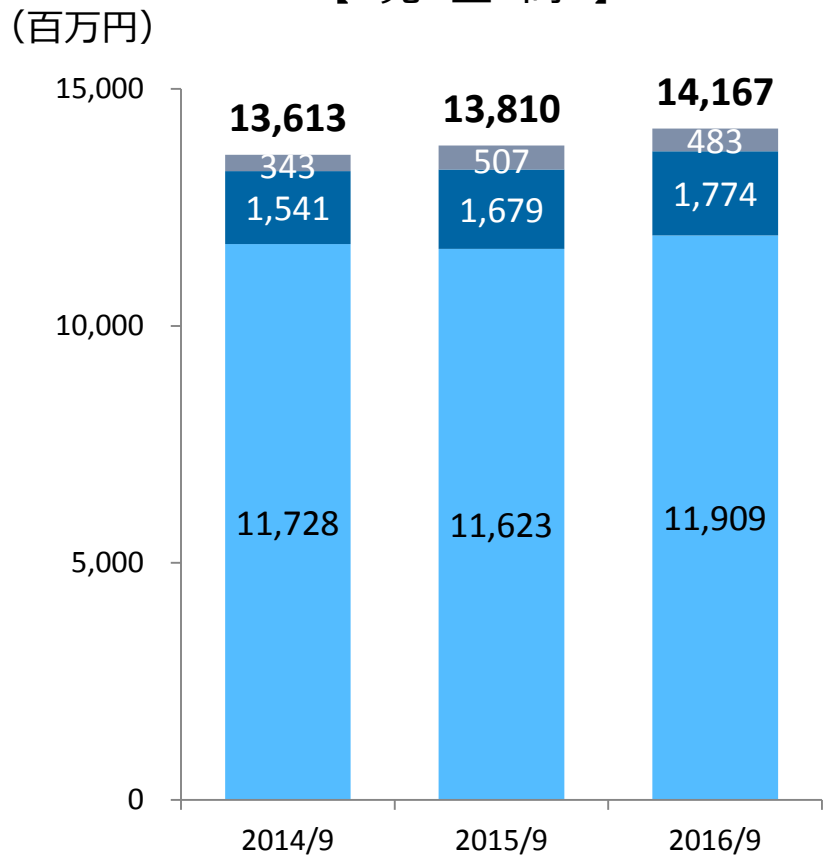
■ モニタリング ■ データマネジメント ■ 薬事コンサル・海外 ■ 非臨床

■ 営業利益 —●— 営業利益率

グローバル開発案件や治験国内管理人業務等を拡大。モニタリング業務及び市販後調査業務等における新規受注及び既存案件が堅調に進捗、JCLバイオアッセイの売上が加わったことにより売上高は前年を上回る。営業利益は、米国を含む非臨床業務の受注進捗の遅れやのれん償却費増加等の影響の結果、前年を下回る。

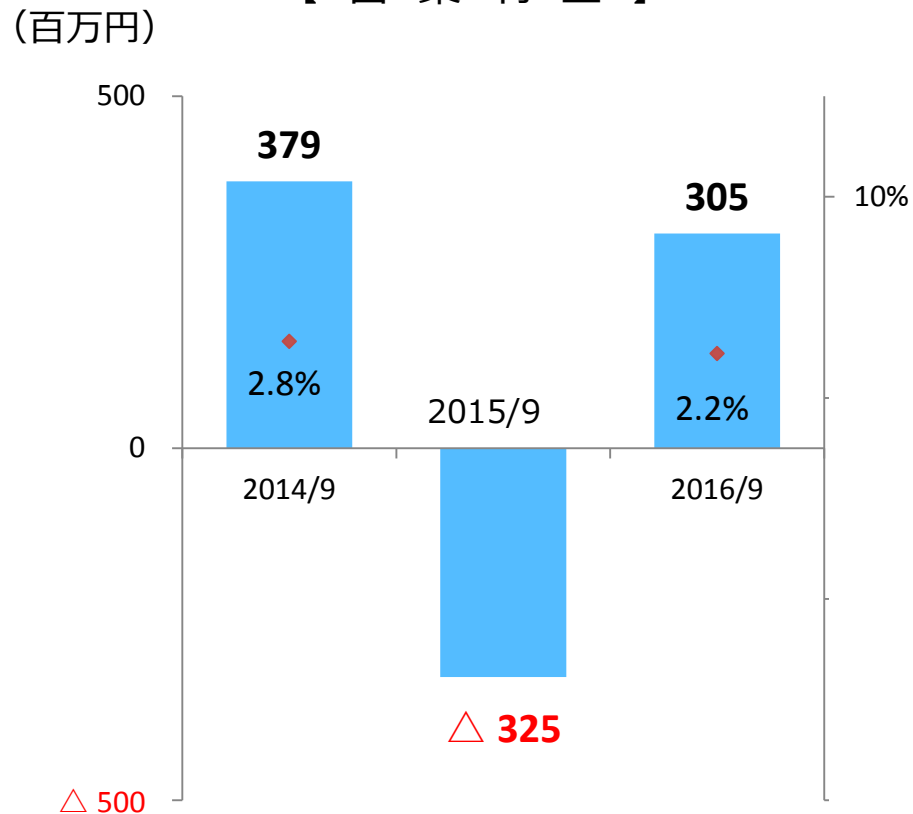
医薬品製造支援（CMO）事業

【売上高】



■ CMO (日本) ■ CCU (米国) ■ CCK (韓国)

【営業利益】

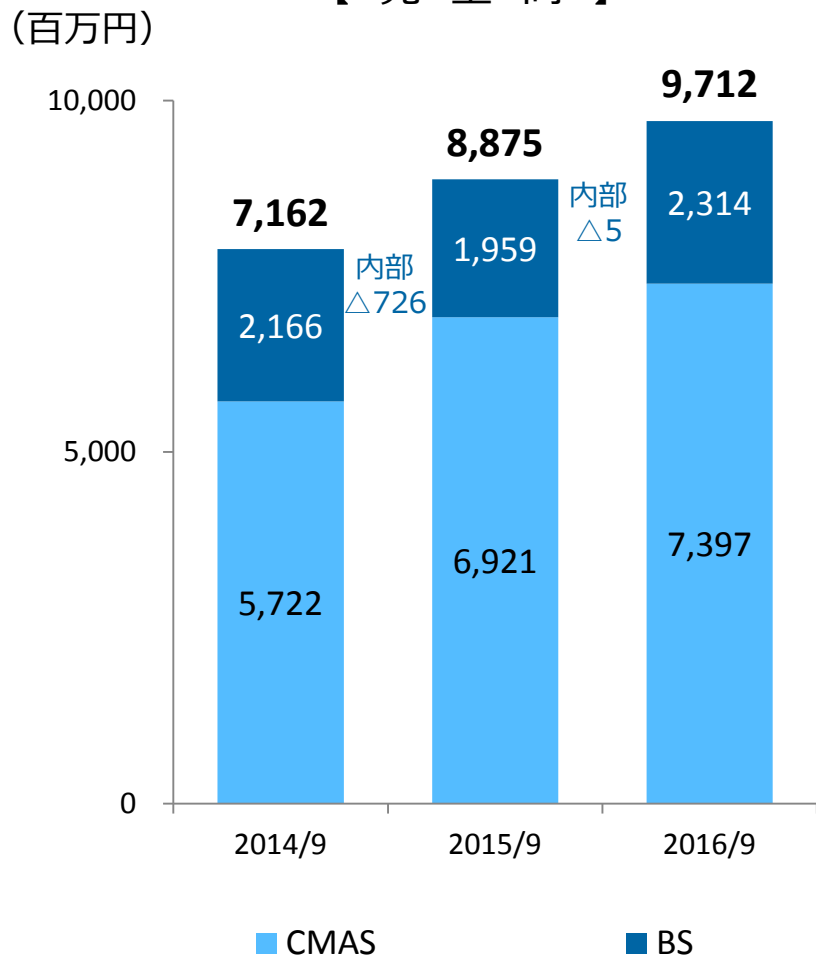


■ 営業利益 ◆ 営業利益率

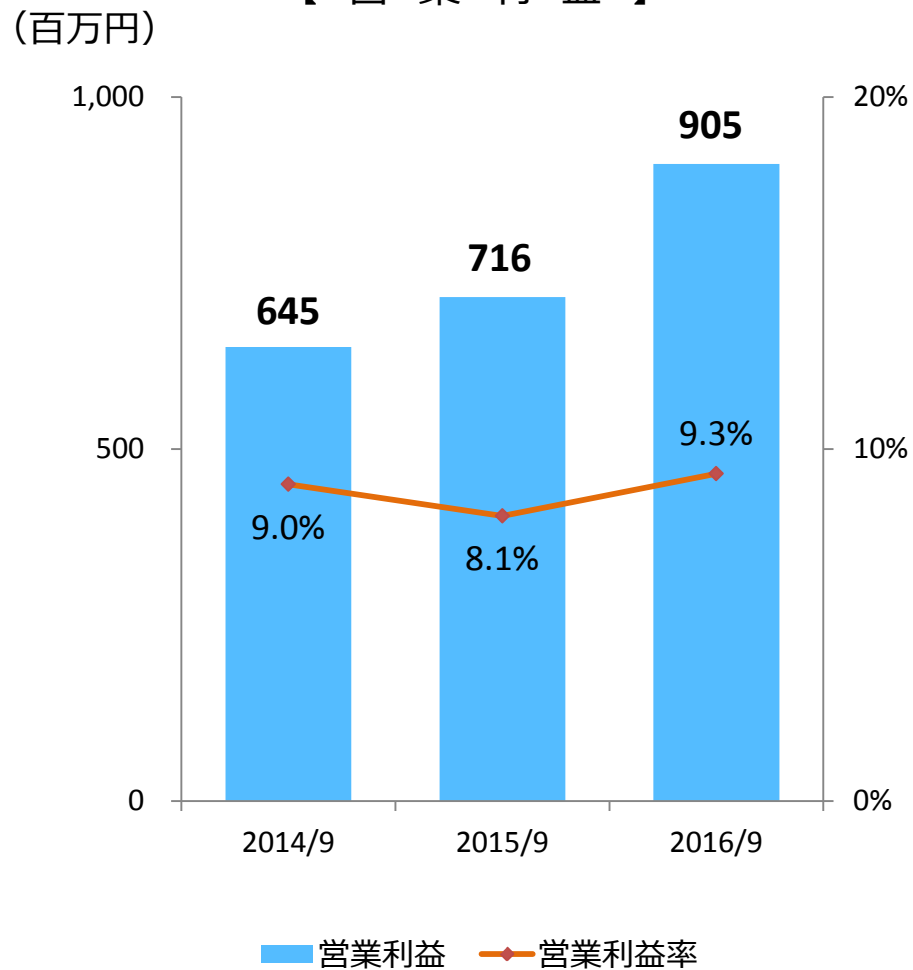
構造改革の取組みにより、価格競争力を強化し営業活動を推進、治験薬の受託製造等、案件の引合いが着実に増加。売上高は新規案件の受託生産が堅調に進み前年を上回る。コスト構造改革の継続的な取組みの効果により大幅に採算が改善し、営業黒字を計上。

医薬品営業支援（CSO）事業

【売上高】



【営業利益】

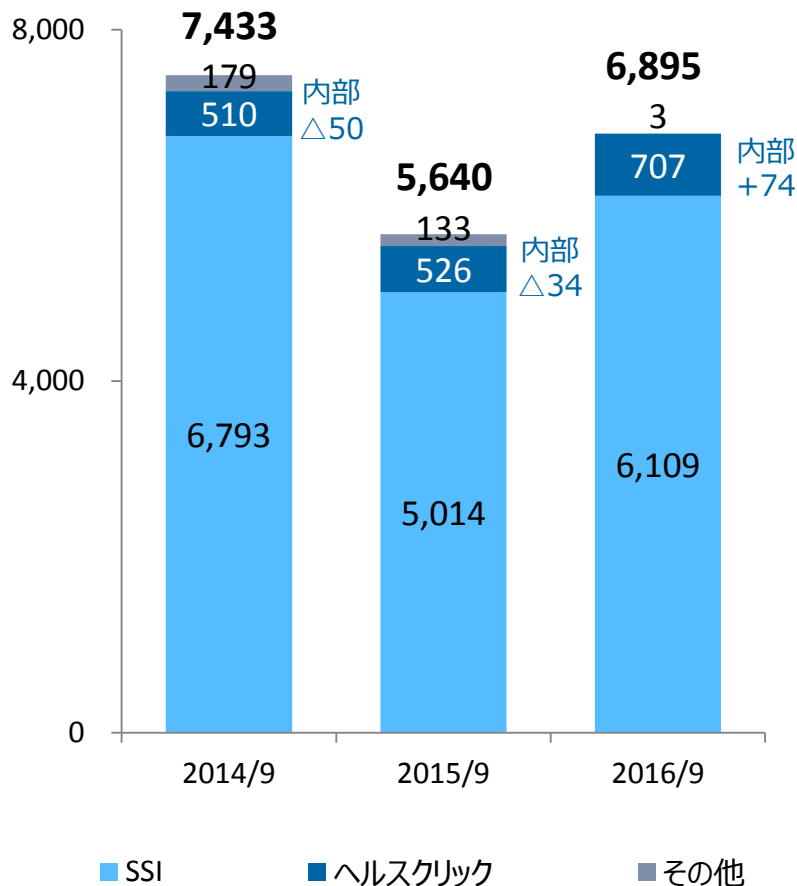


シミック・アッシュフィールドにおいて、受注力強化及び既存案件の着実な進行に取り組む。MR派遣業務において日本初の受託サービス「シンジケートセールスフォース」を開始するなどサービスモデル拡充を進める。MR派遣業務及びBPOサービスの既存案件が順調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年を上回る。

ヘルスケア事業

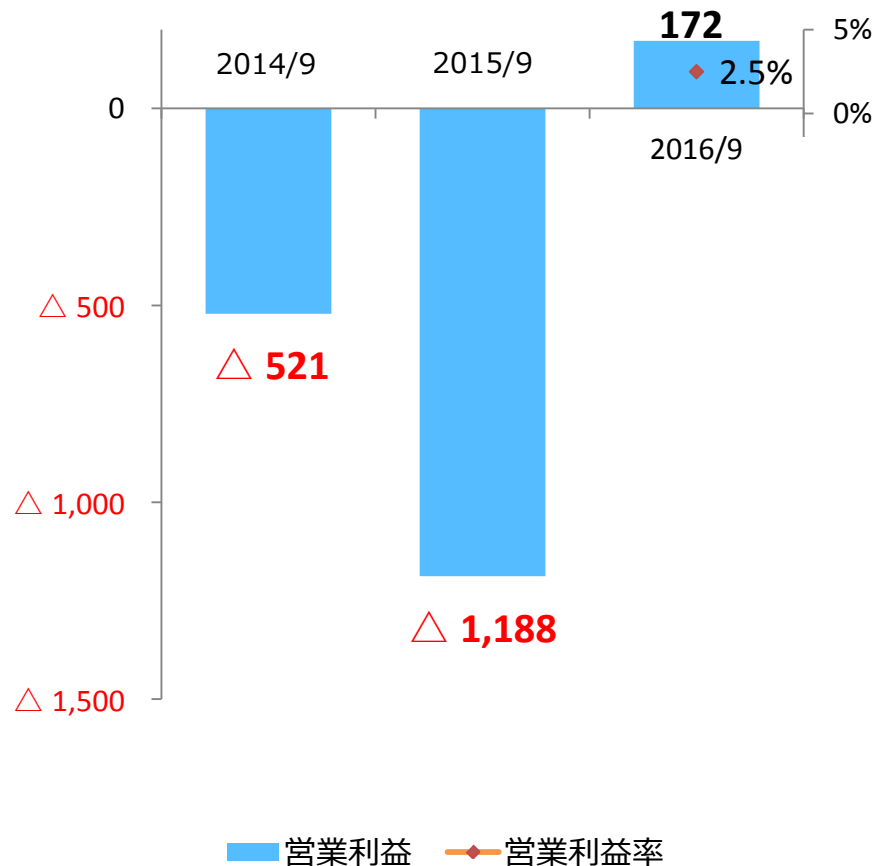
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

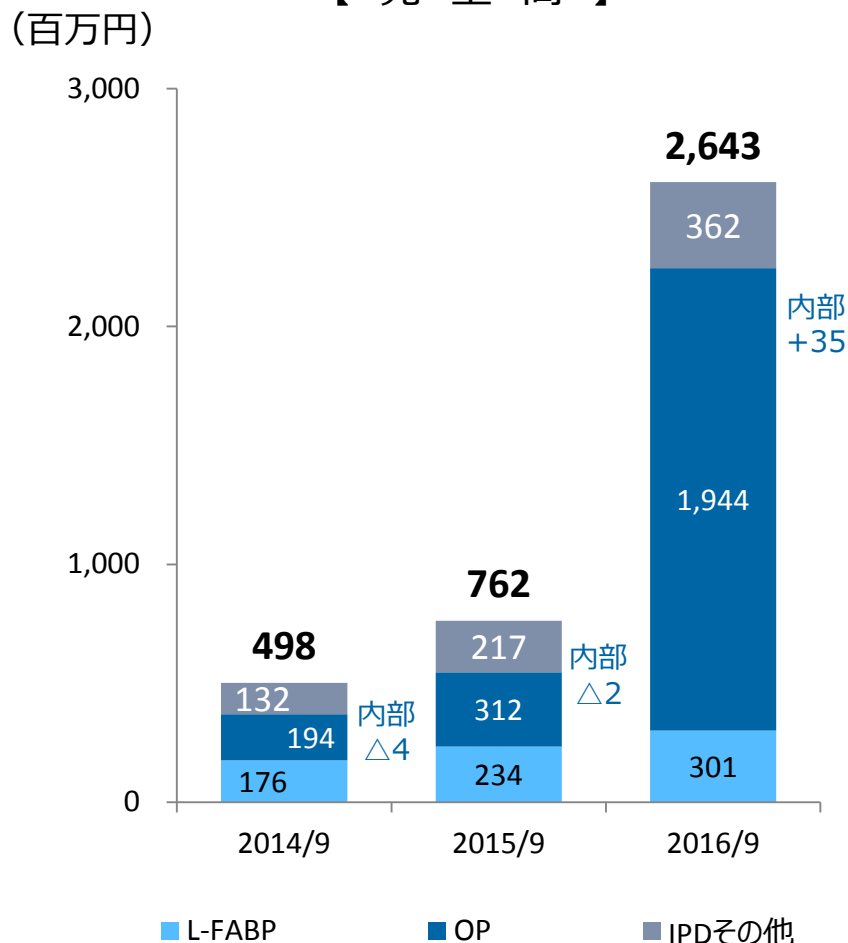
(百万円)



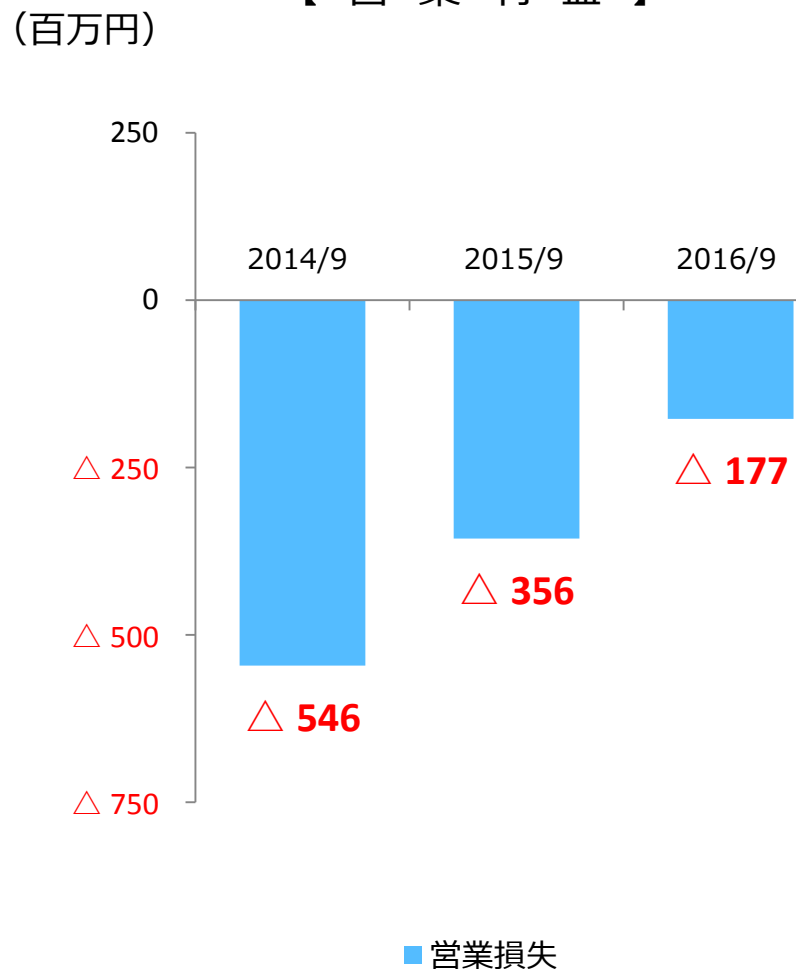
業績の早期回復を図るため、コスト削減やプロジェクト管理強化などの施策を継続して推進。営業活動の強化、医療機関ネットワーク拡大の推進など新規受注獲得に邁進、受注は順調に回復。売上高は新規受注及び既存案件が堅調に進捗し前年を大幅に上回る。経営効率化施策の進展により大幅に採算が改善し、営業黒字を計上。

知的財産開発（IPD）事業

【売上高】



【営業利益】

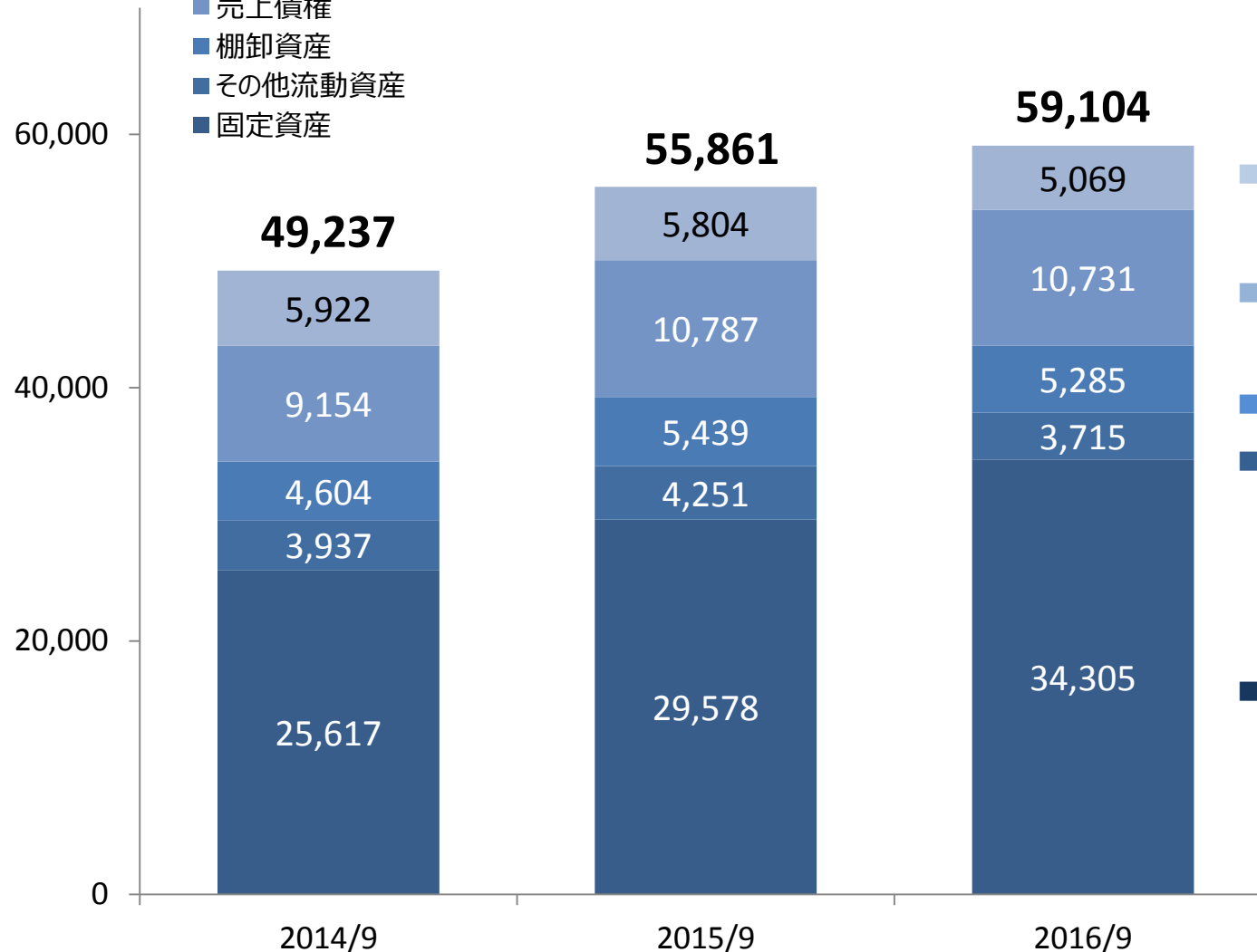


診断薬開発において、体外診断薬の高感度型を販売開始。簡易検査（Dip-test）キットが保険収載され、販路拡大に努める。製薬企業から製造販売承認の承継を受けたオーファンドラッグ等の販売を行うなど、売上規模の拡大を図る。診断薬及びオーファンドラッグ等の売上が増加したこと等により売上高が前年を大幅に上回り、営業損失を縮小。

貸借対照表 (資産の部)

(百万円)

- 現預金
- 売上債権
- 棚卸資産
- その他流動資産
- 固定資産

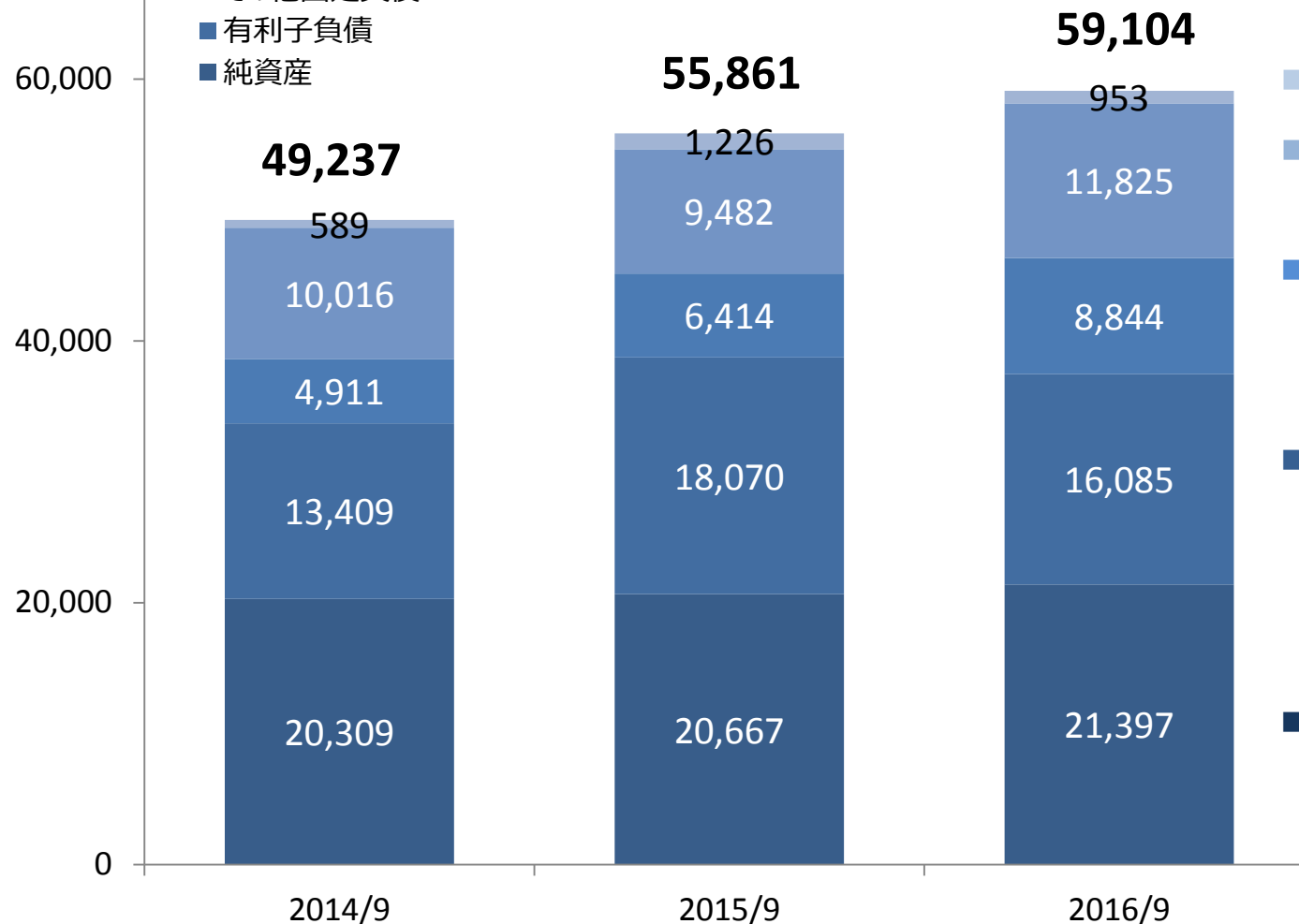


総資産	+3,243
現預金	△735
売上債権	△56
棚卸資産	△154
その他流動資産	△536
固定資産	+4,727

貸借対照表（負債の部・純資産の部）

(百万円)

- 仕入債務
- その他流動負債
- その他固定負債
- 有利子負債
- 純資産



- 仕入債務 $\Delta 273$
- その他流動負債 $+2,342$
- その他固定負債 $+2,429$
- 有利子負債 $\Delta 1,985$
- 純資産 $+730$

キャッシュ・フロー

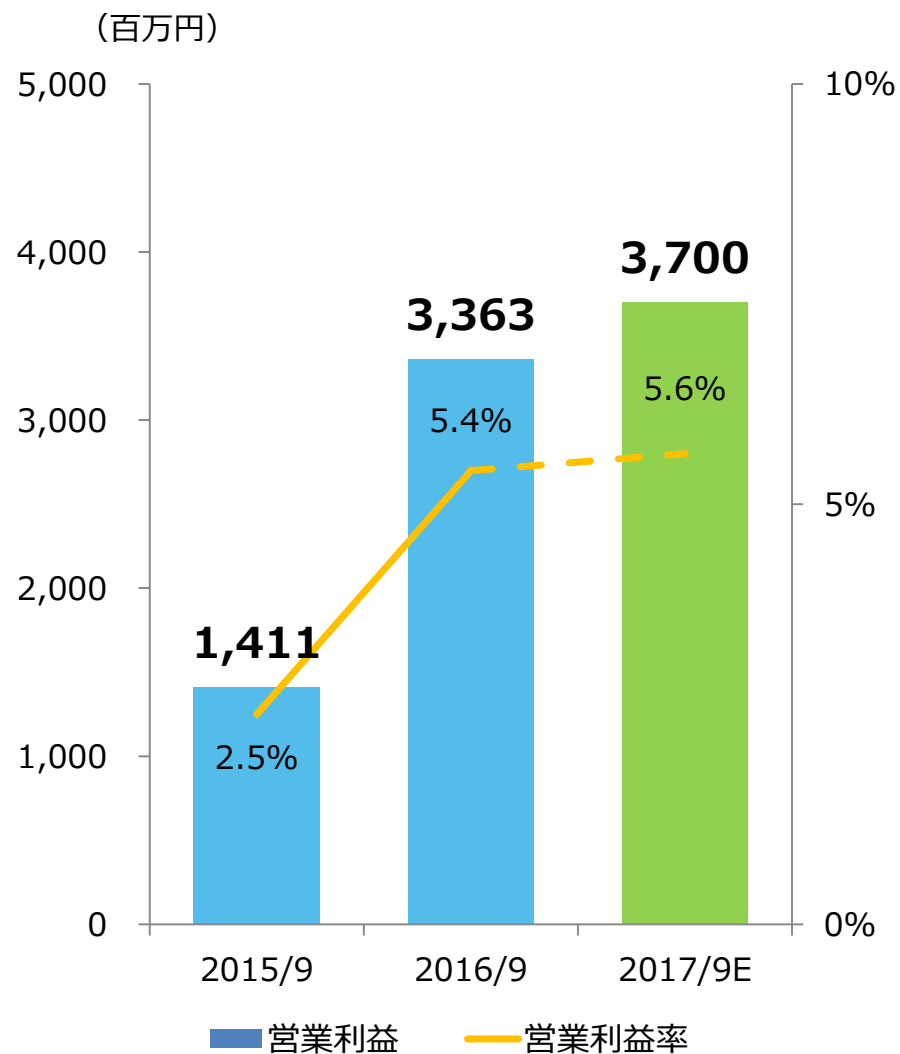
	(百万円)			
	2015/9	2016/9	増 減	
営業活動によるCF	889	6,493	5,604	【主な内訳】
投資活動によるCF	△3,461	△4,639	△1,178	(営業活動によるCF)
財務活動によるCF	1,904	△2,391	△4,295	・税金等調整前当期純利益の増加
現金及び現金同等物の 換算差額	21	△153	△174	・法人税等の支払額の減少
現金及び現金同等物の 増減額	△646	△692	△46	(投資活動によるCF)
現金及び現金同等物の 期首残高	5,751	5,638	△113	・有形・無形固定資産の取得による支出
株式交換による現金及び 現金同等物の増加額	533	—	△533	・長期貸付による支出
現金及び現金同等物の 期末残高	5,638	4,946	△692	(財務活動によるCF)
				・金融機関からの短期借入金の返済及び コマーシャルペーパーの償還による支出

2017年9月期 業績見通し

2016年10月1日付組織体制の変更に伴い、製薬業界向けBPO・人材サービス業務を行う(株)シミックBS（現シミックキャリア(株)）は、その報告セグメントをCSO事業からCRO事業に、シミックホールディングス(株)で行っているIPD事業の一部業務をCRO事業に変更いたします。従いまして、2016年9月期実績につきましては、当該変更後の算定方法に基づき作成した情報を参考データとして公表いたします。

2017年9月期 通期見通し

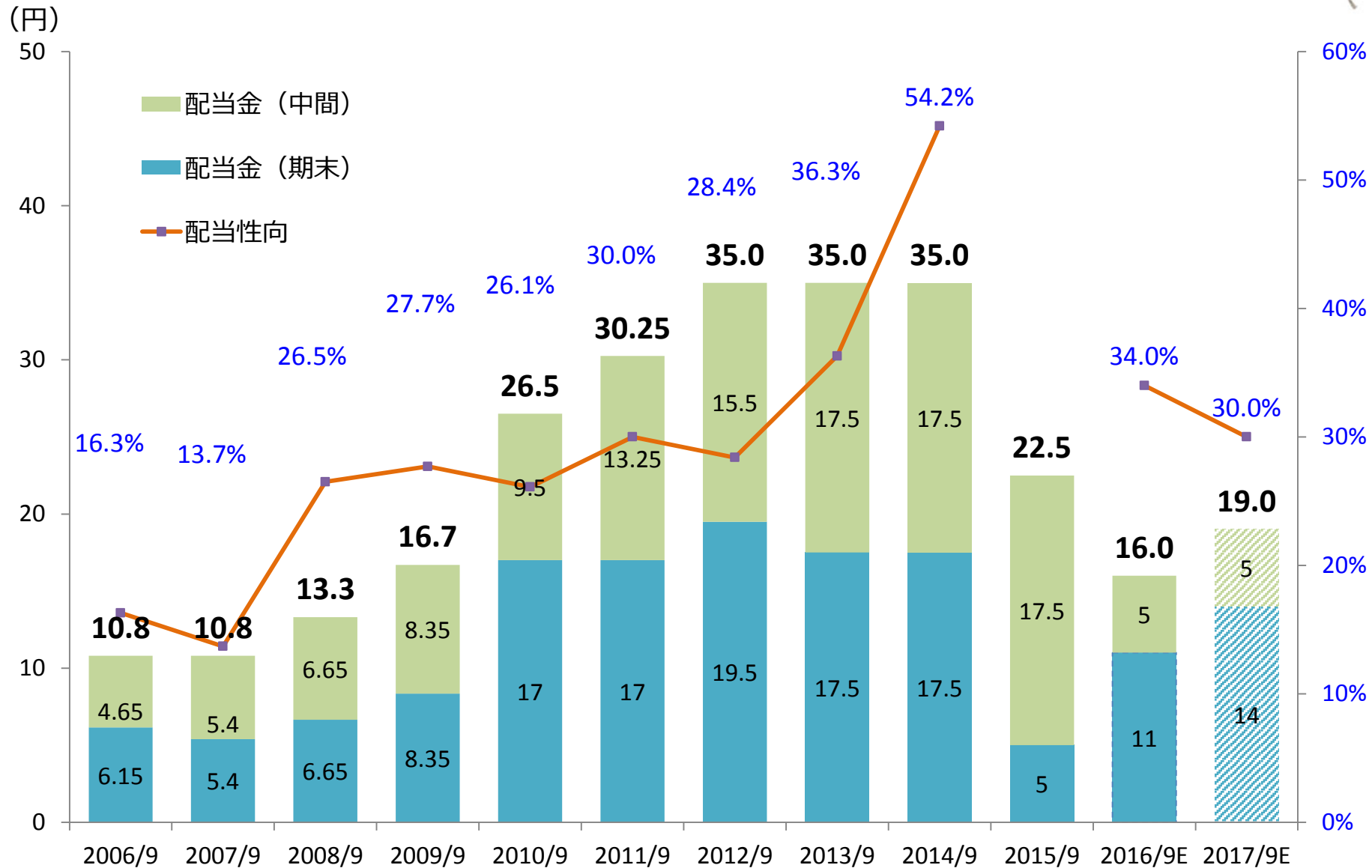
	2016/9 実績 (百万円)	2017/9 見通し (百万円)	増減率 (%)
売上高	62,039	66,500	7.2
営業利益	3,363	3,700	10.0
経常利益	2,989	3,420	14.4
親会社株主に帰属する当期純利益	878	1,200	36.5



2017年9月期 通期見通し (セグメント別)

		2016/9実績 (百万円)	2017/9見通し (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	31,971	35,200	10.1
	営業利益	5,203	5,650	8.6
C D M O 事業	売上高	14,167	14,600	3.0
	営業利益	305	350	14.8
C S O 事業	売上高	7,398	7,900	6.8
	営業利益	453	460	1.5
ヘルスケア事業	売上高	6,895	7,200	4.4
	営業利益	172	400	132.6
I P M 事業	売上高	2,317	2,400	3.6
	営業利益	△239	△250	-
調 整 額	売上高	△710	△800	-
	営業利益	△2,531	△2,910	-
合 計	売上高	62,039	66,500	7.2
	営業利益	3,363	3,700	10.0

(参考) 1株当たり配当金と配当性向の推移





シミックグループの 事業戦略

代表取締役CEO 中村 和男

医療費、薬剤費抑制策の推進
新薬開発力の維持強化 など

製薬業界における 産業構造の革命的変化

- ▶ HTA (Health Technology Assessment) の導入
- ▶ Real World Data(RWD)の活用
- ▶ ビッグデータ・AIの活用
- ▶ 適確な医療 (Precision Medicine) への対応

CMICの概要



CMIC独自の事業モデル（PVC）

CSO事業
(Contract Sales Organization)

ヘルスケア事業
(Healthcare)

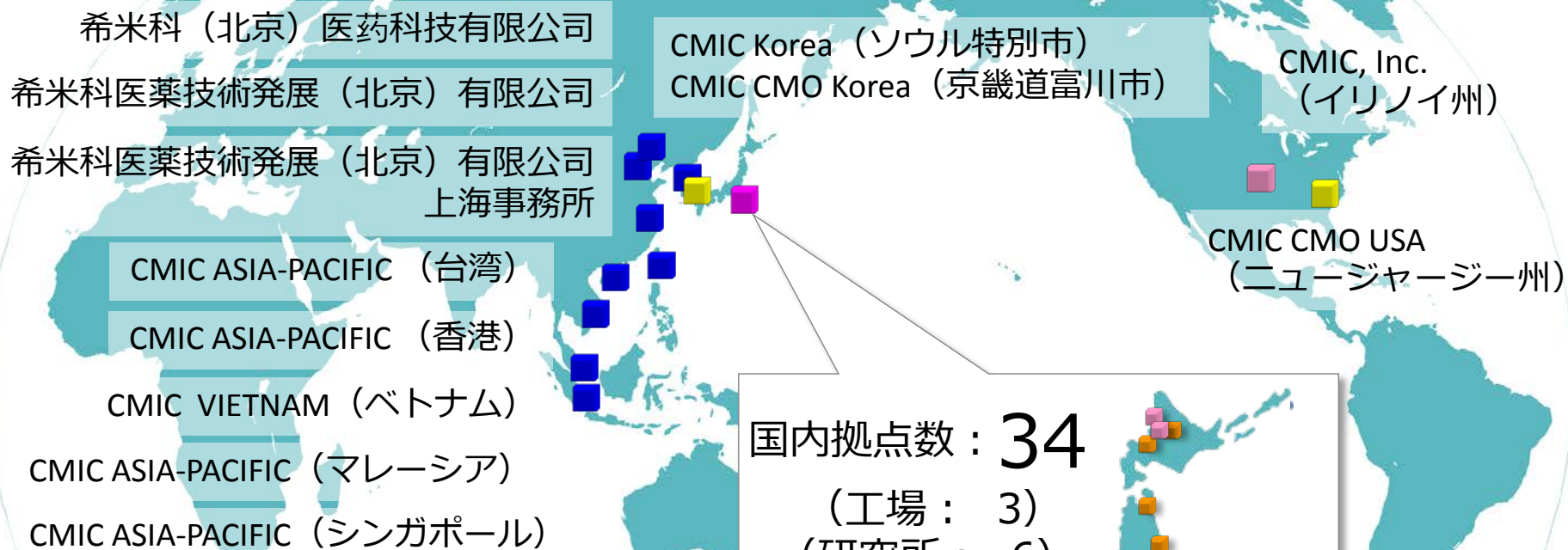
Pharmaceutical Value Creator

CDMO事業
(Contract Development Manufacturing Organization)

IPM事業
(Innovative Pharma Model)

CRO事業
(Contract Research Organization)

シミックグループのエリア展開



海外拠点数：11

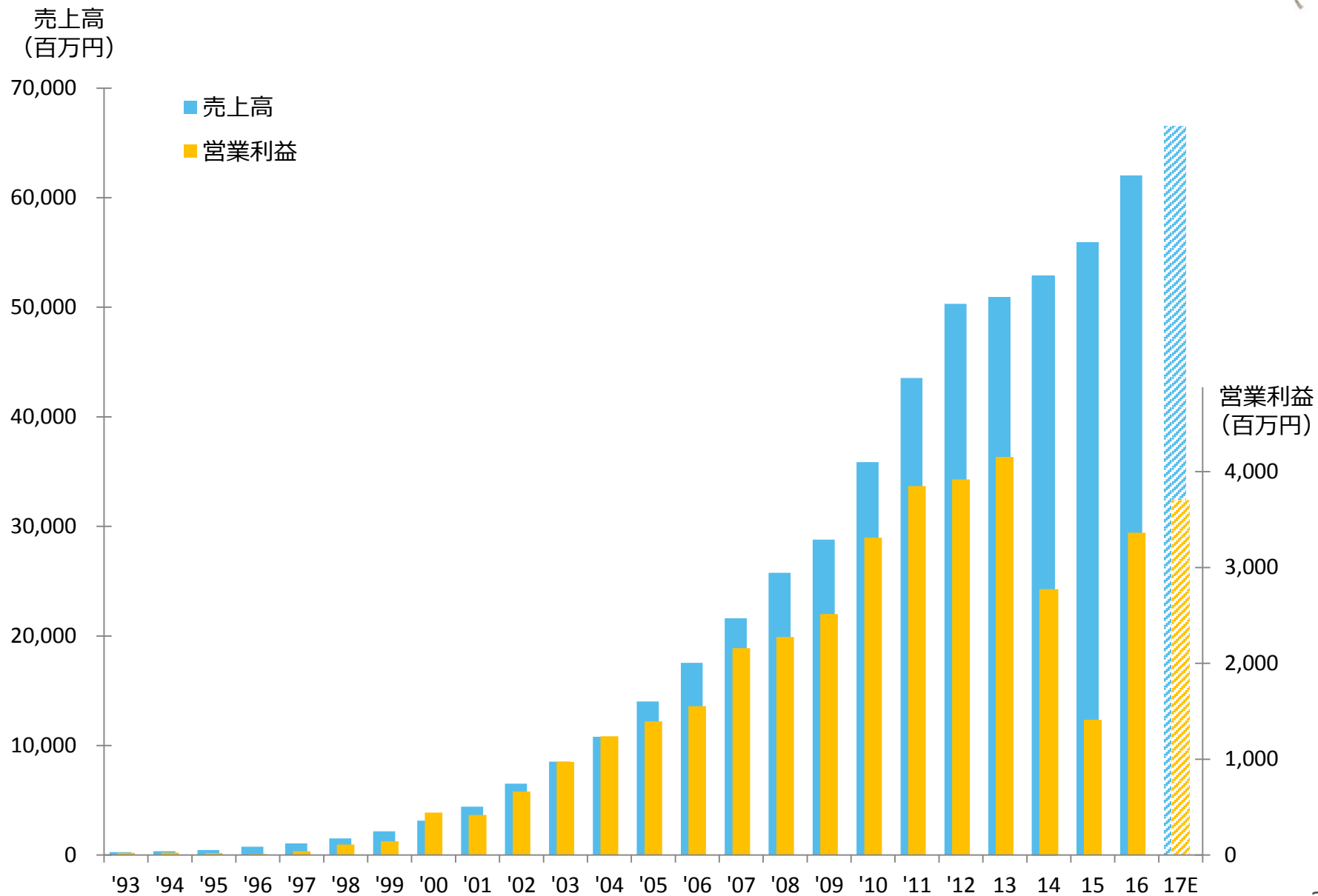
(工場：2)
(研究所：1)

- オフィス所在地
- 工場所在地
- 研究所所在地

国内拠点数：34
(工場：3)
(研究所：6)

- オフィス/サテライト所在地
- 工場所在地
- 研究所所在地

売上高と営業利益の推移



2014年10月より

Project Phoenixをスタート

収益の伴った成長を実現するために

Phoenix 1.0 (2014年10月–2016年3月)

- ▶ 赤字事業の解消、コスト構造の改革
- ▶ 企業文化の確立 (CMIC'S CREED)

Phoenix 2.0 (2016年4月–2018年3月)

- ▶ アジャイル型経営のための組織再編、人材教育
- ▶ PVC機能を活用したソリューション提供
- ▶ Innovative Pharma Modelのプラットフォーム提供

Phoenix 3.0 (2018年4月–2020年3月)

- ▶ 更なる成長に向けたビジネスモデルの進化



Project Phoenixの 進捗と今後の展望

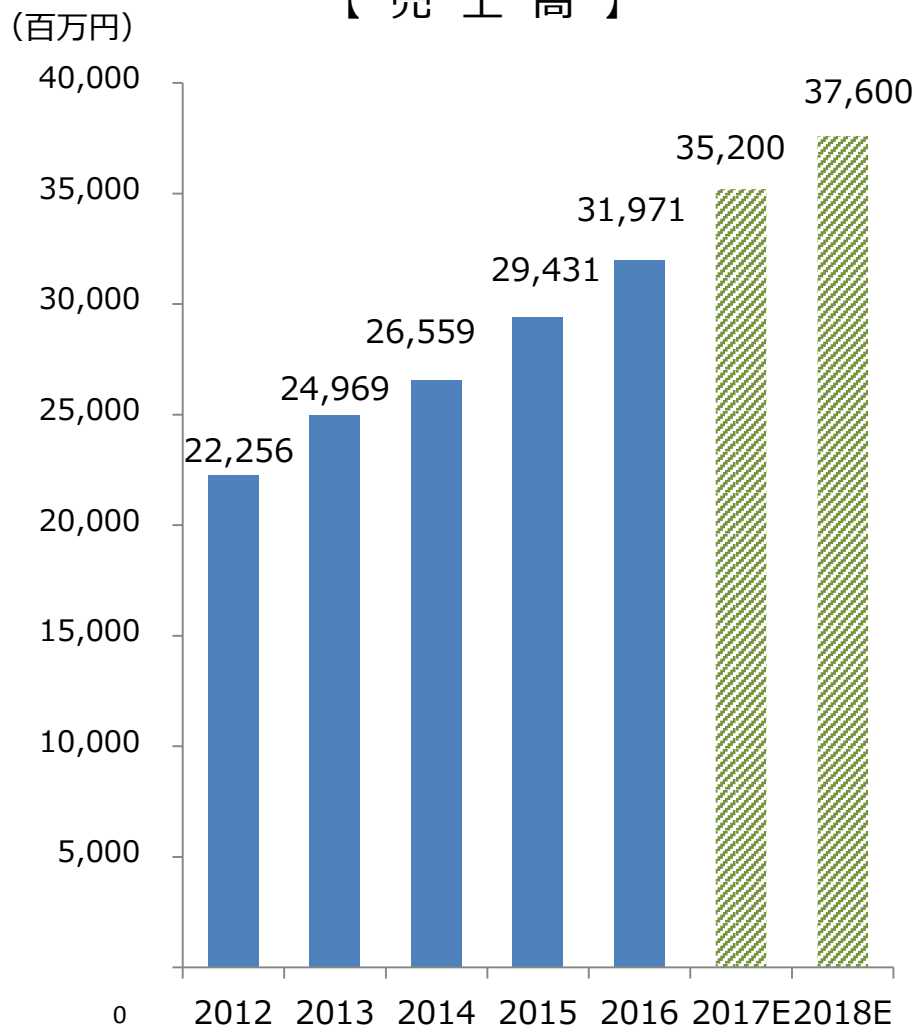


CRO事業

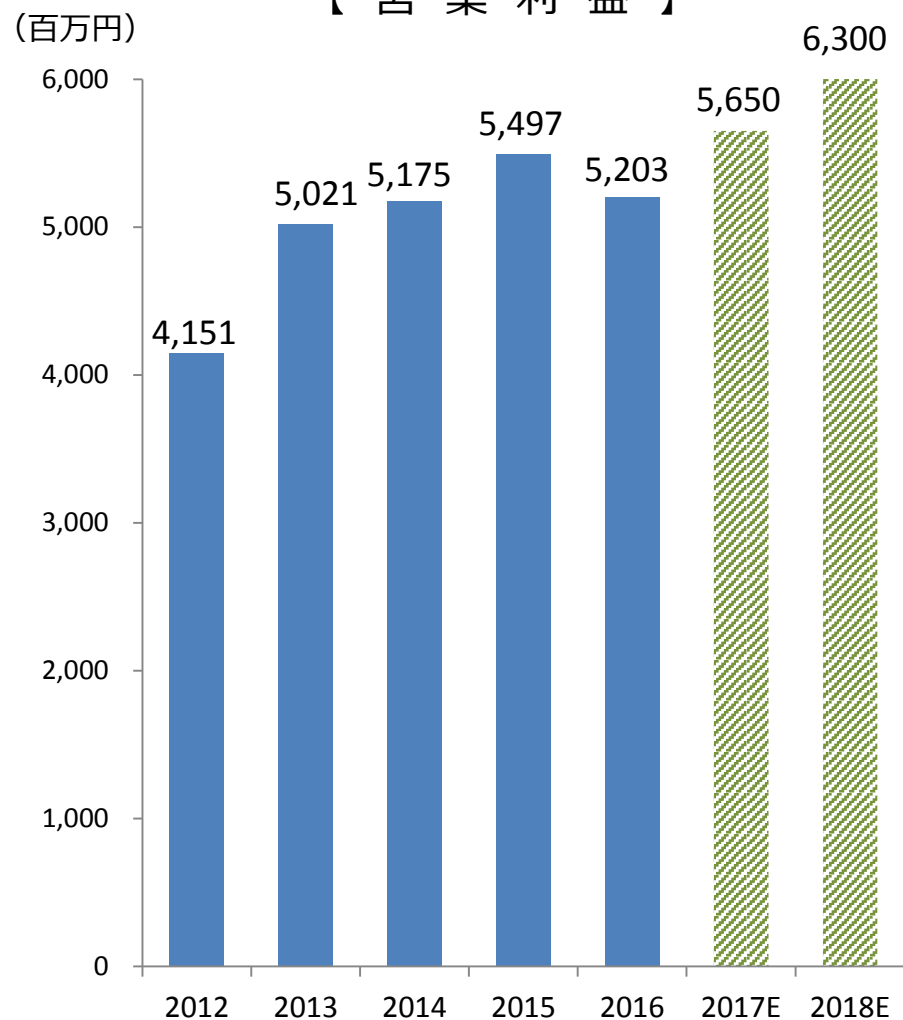
医薬品開発支援

売上・営業利益の見通し【CRO事業】

【売上高】



【営業利益】

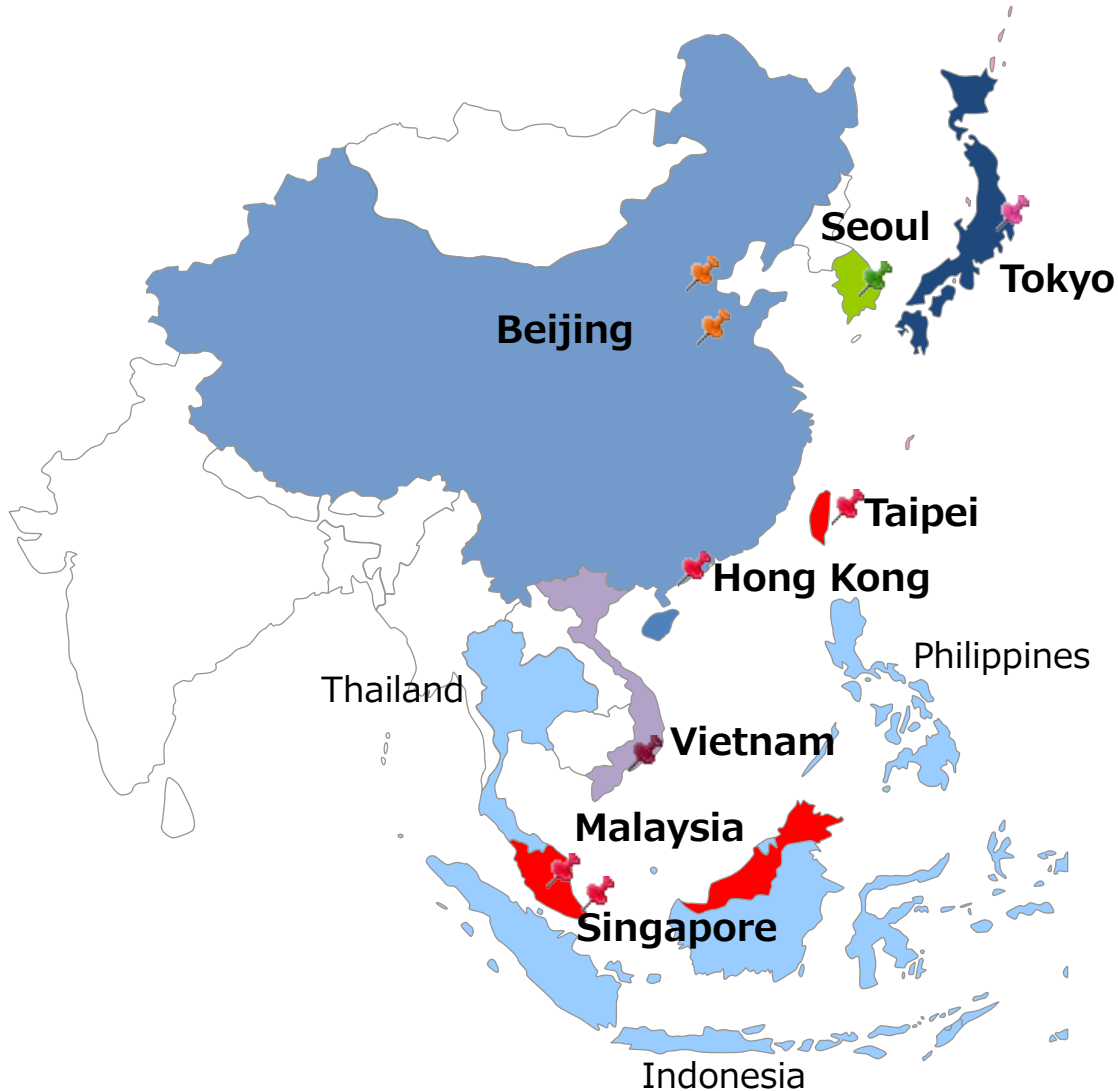


CRO事業（臨床）

- ▶ グローバル化推進
- ▶ より高度なソリューションビジネス
- ▶ Phase IIIb、IV、PMS、臨床研究等、育薬プロジェクト実施体制強化
- ▶ コストエフェクティブオペレーションモデル設計

「アジアNo.1を目指す」

アジア拠点



 CMIC HD / CMIC : 日本

 CMIC Korea : 韓国

 CMIC Beijing : 中国

 CMIC Asia-Pacific

- シンガポール(HQ)
- 台湾
- マレーシア
- 香港

Field-based Locations

- フィリピン
- タイ
- インドネシア

 CMIC Vietnam : ベトナム

Non-clinical CRO業務



Non-clinical CRO業務の分析施設



▶ 米国
(CMIC, Inc.)



▶ 石狩
品質保証事業



▶ 西脇
バイオアナリシス事業

日米のラボでシームレスな連携

新動物実験棟

小淵沢の「バイオリサーチセンター」に新設

2017年1月バリデーション終了予定



造腫瘍性試験*など再生医療に関する
安全性試験を実施

* 体内に移植した他家細胞が癌化しないかどうかを確認する試験



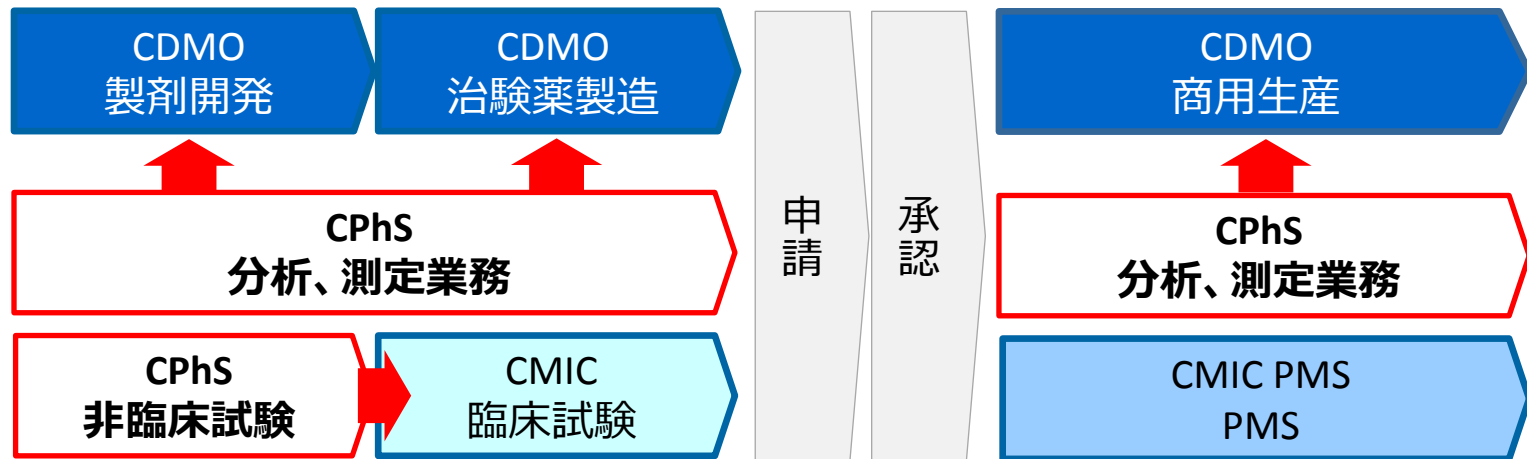
動物愛護や福祉に配慮

AAALAC（米国実験動物管理認定協会）

完全認証の取得：2007年2月
（2013年3月再認証）

Non-clinical CROの取り組み

＜顧客製品の開発ステージにあわせ、総合的に支援＞



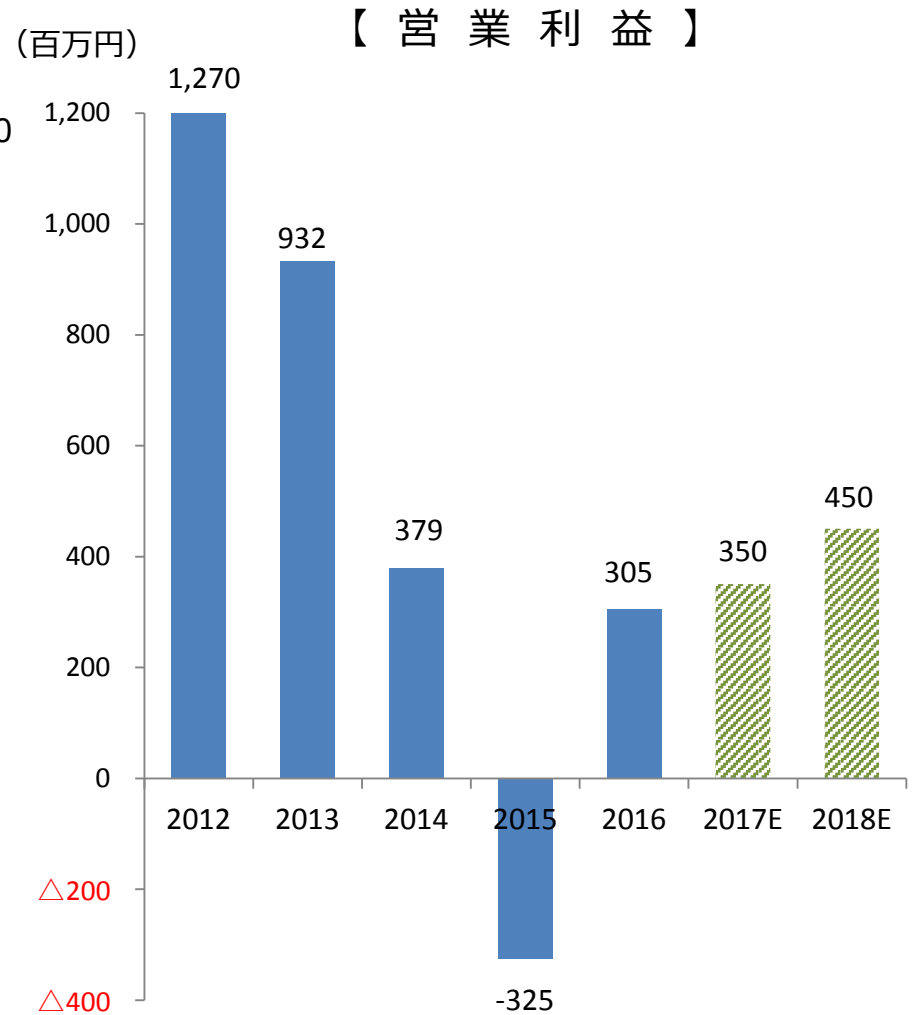
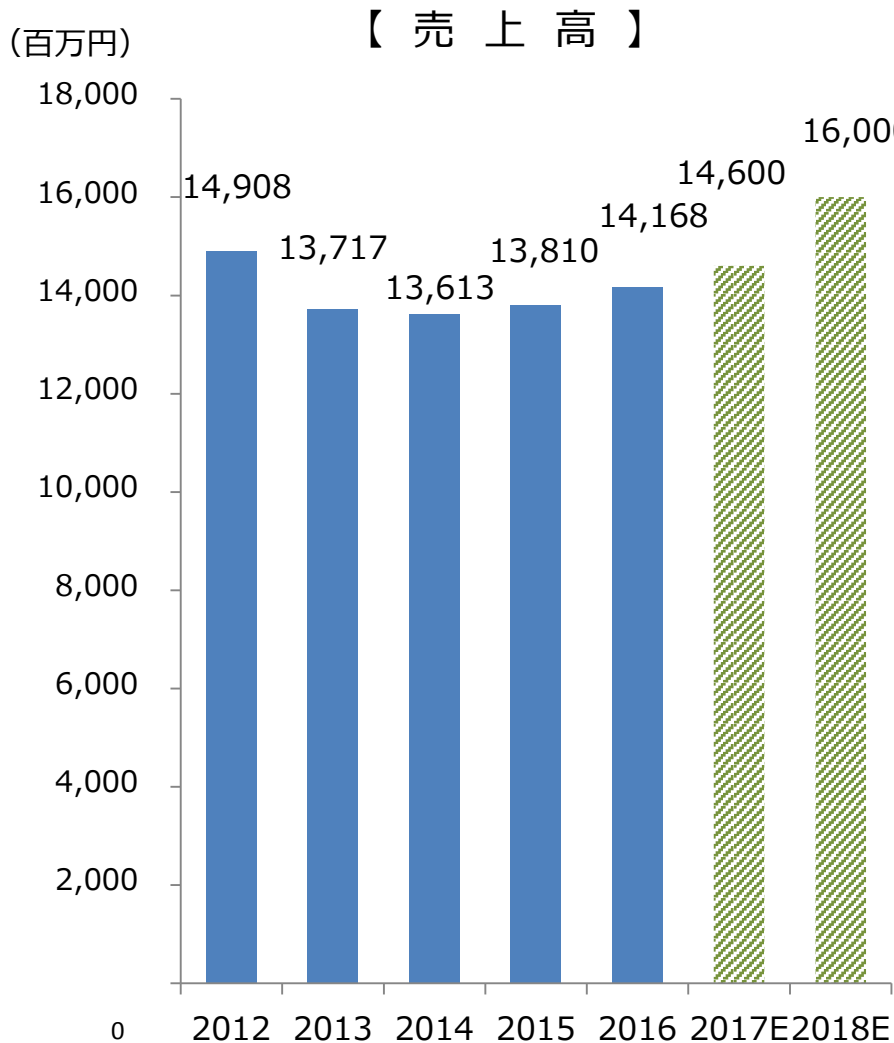
- ▶ 製薬企業向けに特化
- ▶ 非臨床から臨床、CDMOへの橋渡し
 - ▶ **GMP**にも対応し、原料受け入れ試験や製品出荷試験が可能
(特に高分子医薬品の製品出荷試験に強み)
- ▶ 米国における分析ラボ強化⇒日米連携 (同時試験)
 - ▶ 日系大手製薬企業の北米での測定業務を独占的に受託
 - ▶ 将来的に欧州・中国にも展開予定



CDMO事業

医薬品製造支援

売上・営業利益の見通し【CDMO事業】



2021年9月期目標：売上高200億円、営業利益15-20億円

CDMO事業グローバル市場規模

EU CMO市場

2015年 2.0兆円
2020年 2.6兆円
CAGR 5.6%

日本CMO市場

2015年 0.5兆円
2020年 0.7兆円
CAGR 5.7%

US CMO市場

2015年 2.9兆円
2020年 4.3兆円
CAGR 7.8%

CMOグローバル市場

2015年 7兆2,700億円
2020年 10兆870億円
CAGR 8.4%

APAC CMO市場

2015年 2.0兆円
2020年 3.6兆円
CAGR 12.2%

CDMO事業環境のパラダイム転換

企業タイプ

現在の状況

新薬メーカー

- ▶ 新薬開発困難、薬価改定、長期収載品売上減少による損益悪化
 - ▶ 自社工場の稼働率低下
- ⇒ **R & D・生産部門の合理化**
- ⇒ **長期収載品中心にCDMOへの積極的な委託**

GEメーカー

- ▶ GE医薬品使用促進が追い風
 - ▶ ラインアップの拡大に注力
- ⇒ **生産設備および要員の不足**

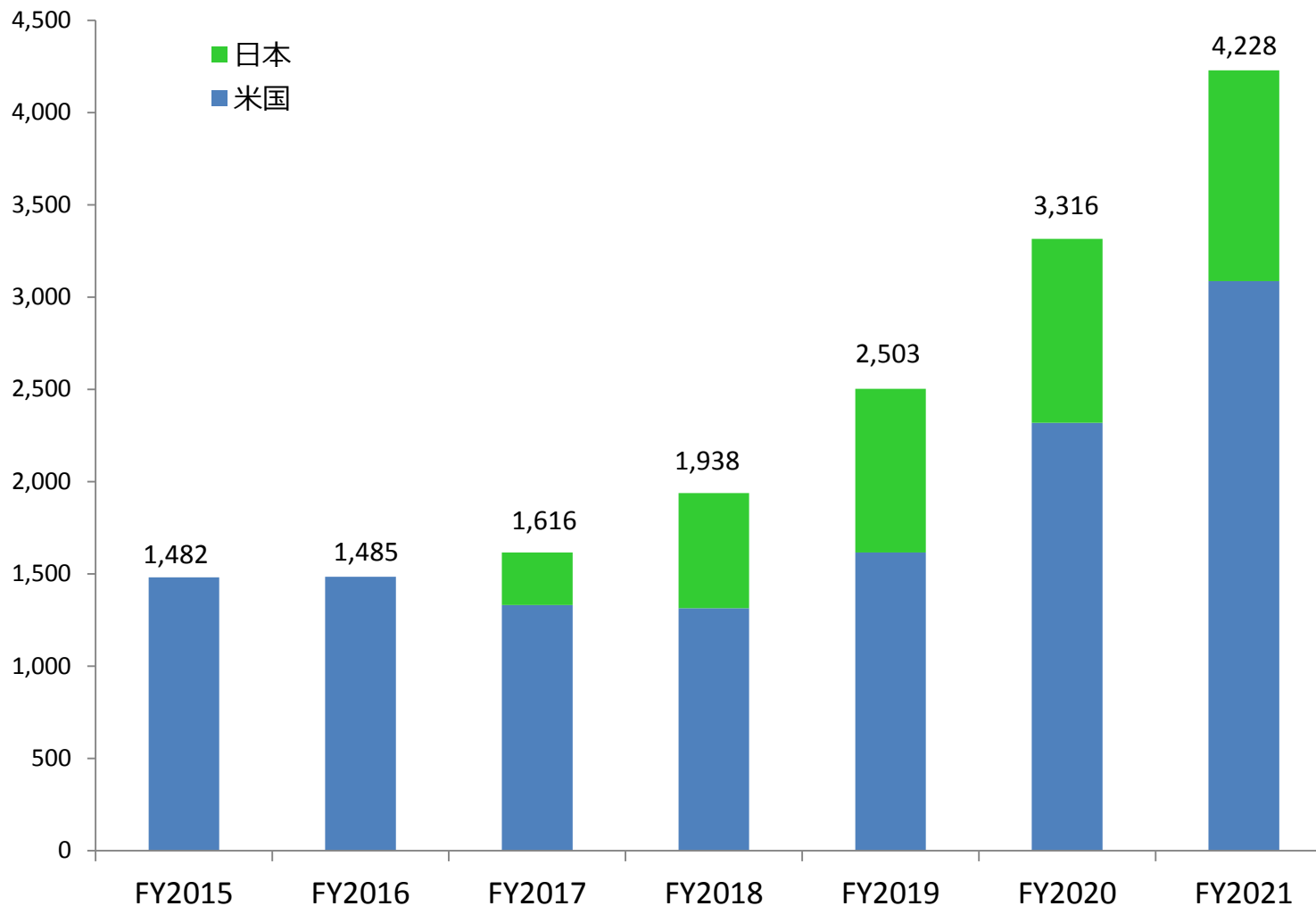
アカデミア/ バイオベンチャー

- ▶ アカデミアシーズの製剤化、治験薬製造、商用生産
- ⇒ **開発・製造・販売・営業等の総合的支援が必要**

受託済ジェネリック医薬品プロジェクトの売上高

(2016年10月現在)

(百万円)



戦略的な設備投資

静岡

固形剤

2013年

2014年

2015年

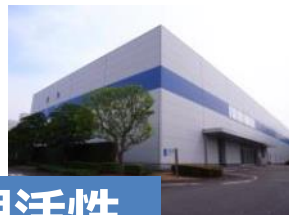
2016年

2017年

2018年

2019年

2020年



高薬理活性
製造ライン

製造品目の
再配置
(技術移転)

富山

半固形剤

高アルコール
製剤製造棟

充填・包装
ライン増設



高薬理活性
対応製造棟

足利

注射剤

新注射剤棟

2018年12月予定



新注射剤棟の概要

【背景】

- ▶ 高度な製造技術とグローバル基準（PIC/S*1、3極GMP*2対応）
- ▶ 高薬理活性、生物由来製剤への対応
- ▶ 抗がん剤領域の市場規模拡大

足利工場内に新設、2018年12月稼働予定（すでに **8社より117品目受託済**）



PIC/Sおよび3極GMPに対応



- *1：医薬品分野における共通の製造・品質管理基準の策定や相互査察の促進を図る国際的な枠組み
- *2：日米欧が定める医薬品の製造・品質管理に関する基準

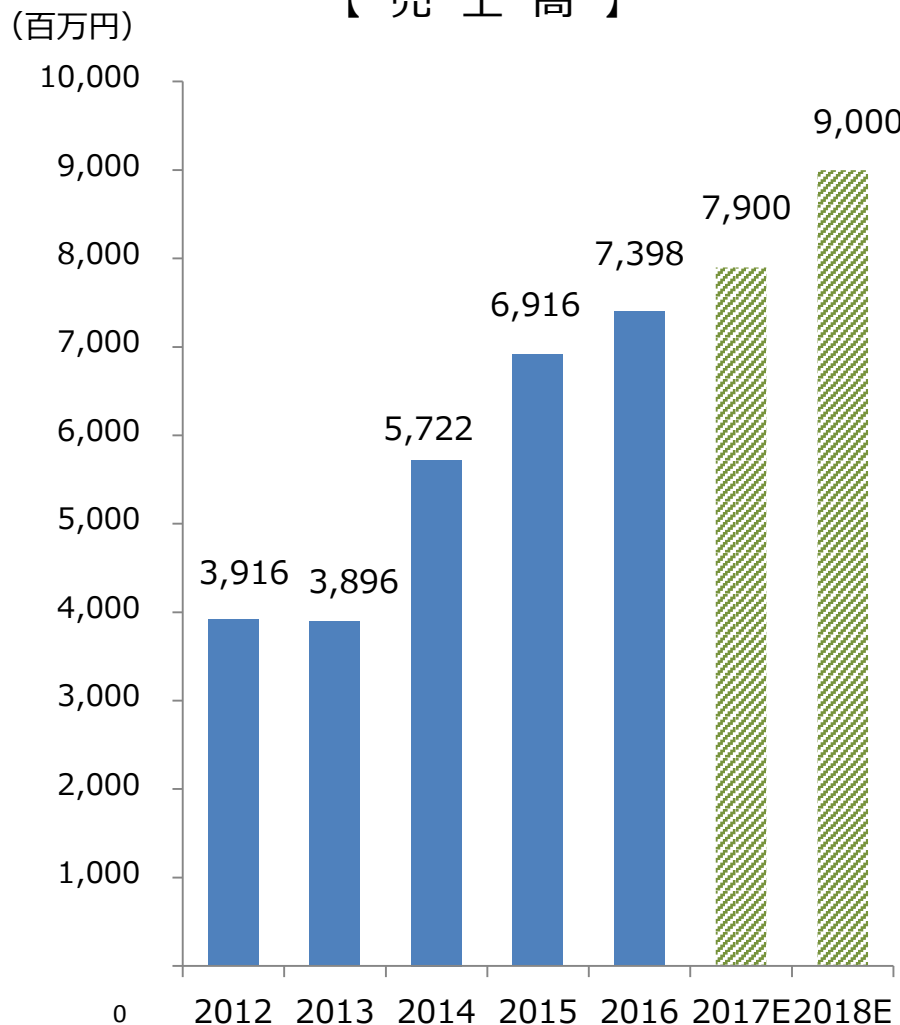


CSO事業

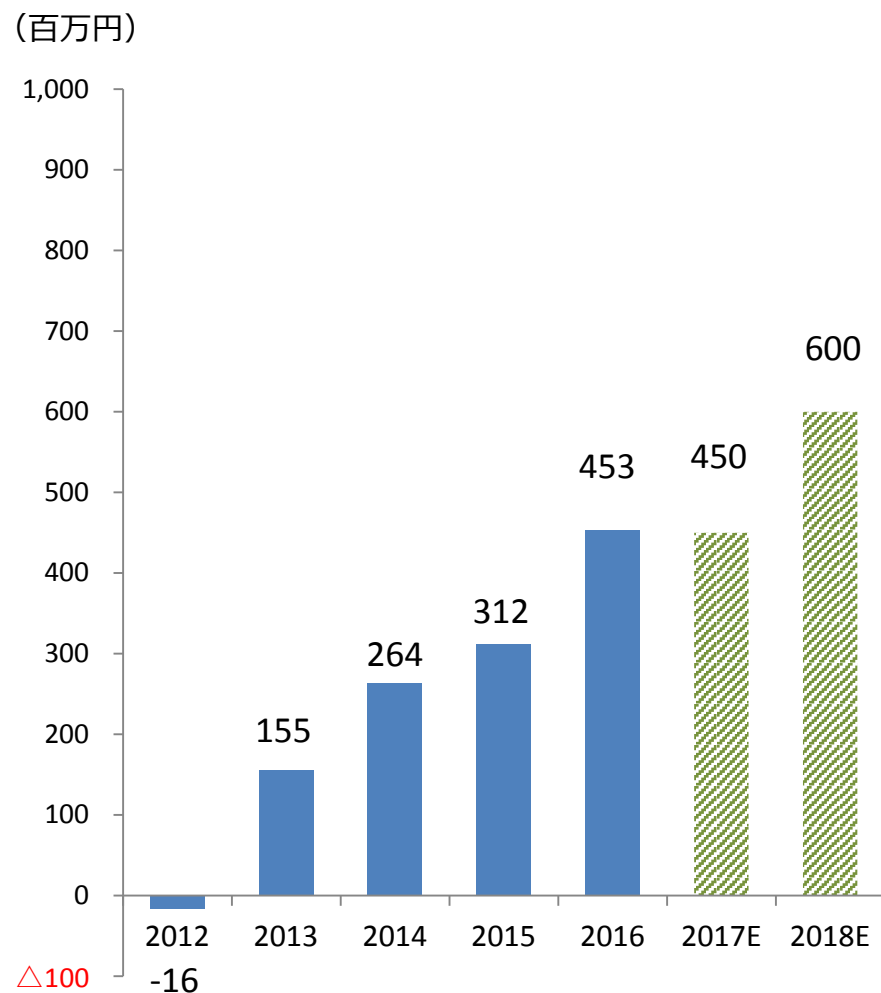
医薬品営業支援

売上・営業利益の見通し【CSO事業】

【売上高】



【営業利益】



CMASの取り組み

▶ 日本初「シンジケート・セールス・フォース」実施

MRは複数社の製品（非競合領域）を担当

⇒満足度調査結果では、訪問施設における医師の**92.8%** ※が有用と評価

※ 外部委託アンケート調査 有効回答数194件

▶ コンタクトセンター事業

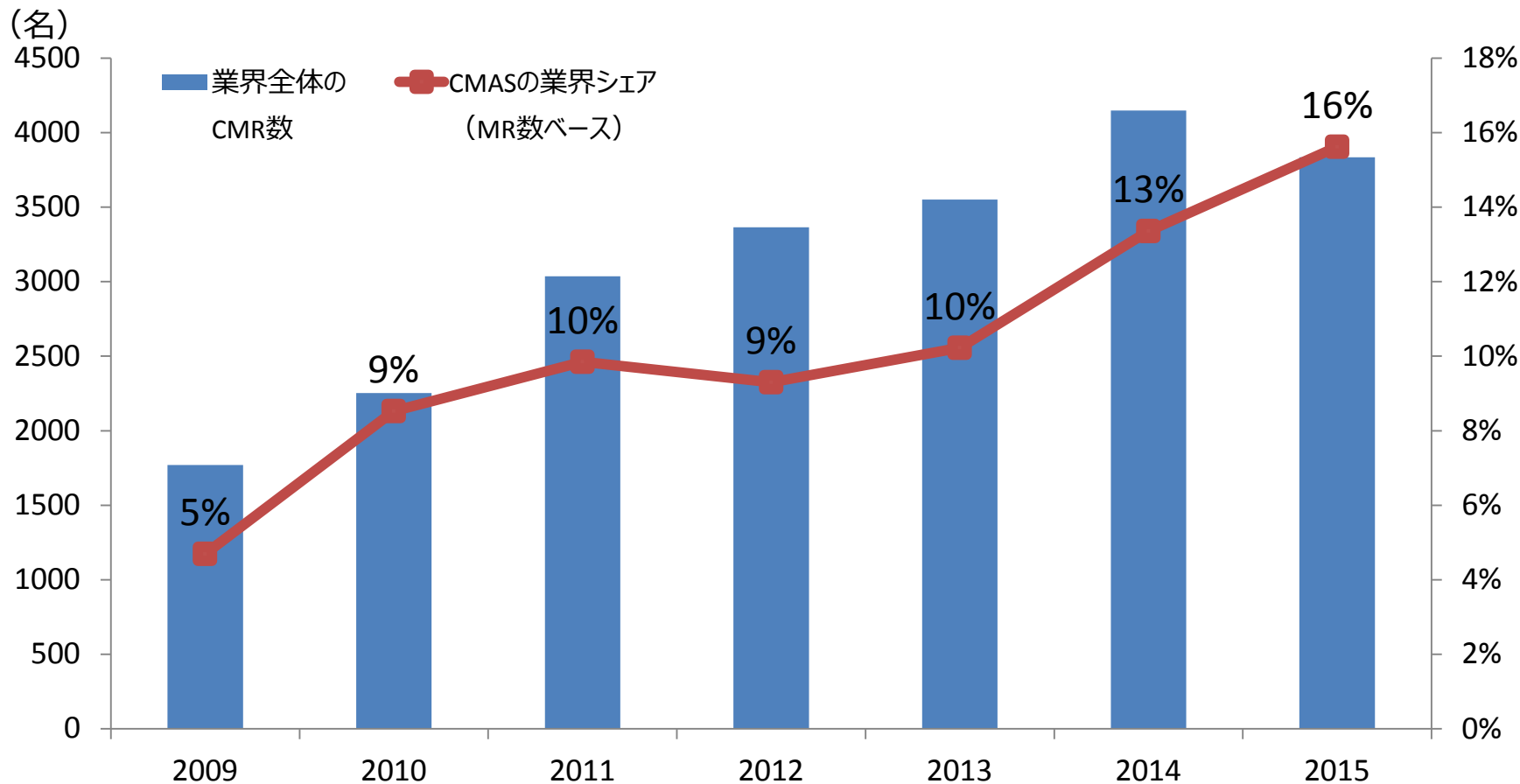
⇒医療従事者に対し医薬品情報をウェブサイト等のリモートチャネルで提供

▶ メディカルアフェアーズ事業

⇒派遣MSL（Medical Science Liaison）に加え、製薬企業のメディカルアフェアーズ部門を総合支援

質の向上と多様化するニーズに合わせたサービス提供へ

コントラクトMR数のシェアが拡大



業界全体のCMR数：日本CSO協会

2015年は業界全体のCMR数は減少、
CMASのシェアは拡大（業界No.2）

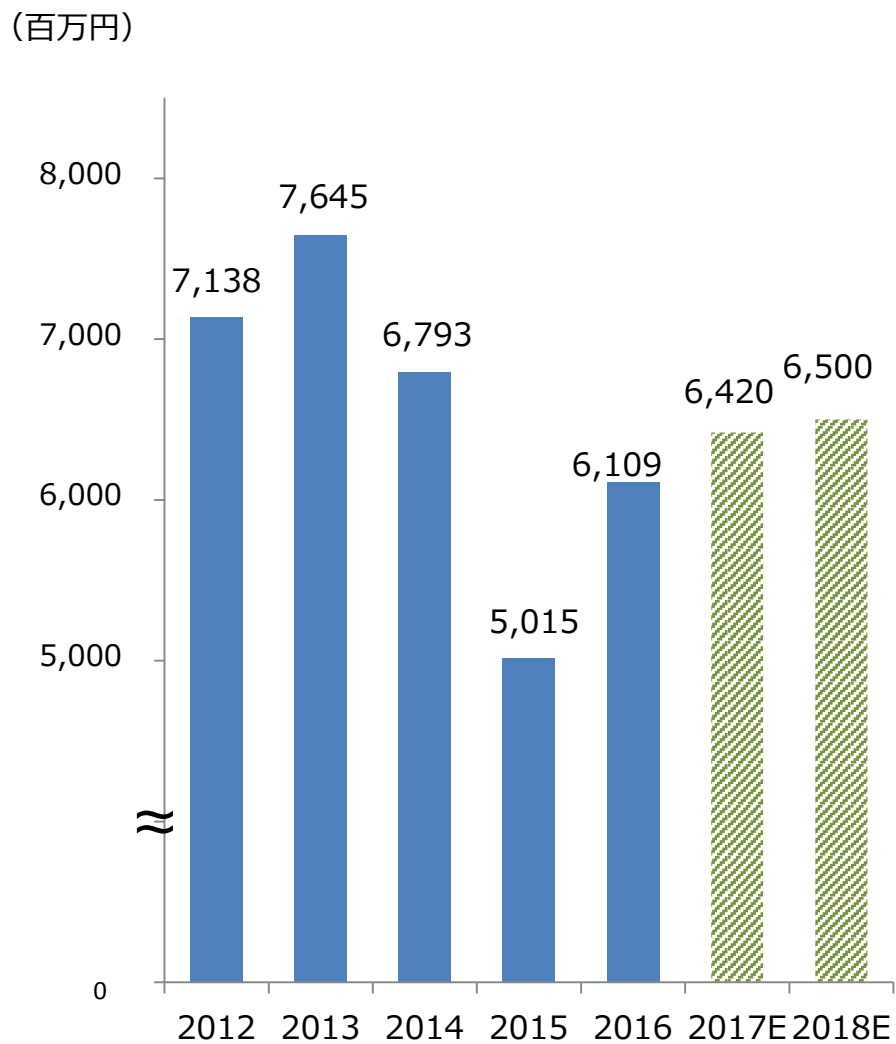


ヘルスケア事業

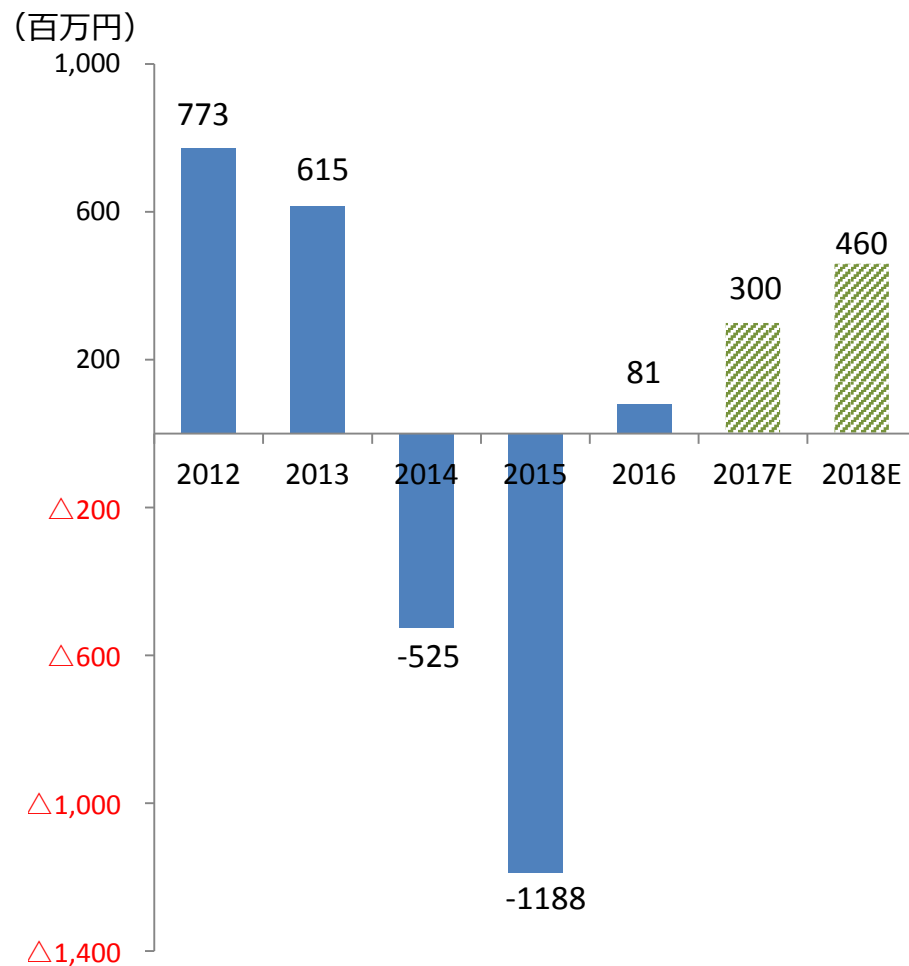
SMO 治験施設支援

売上および営業利益の見通し【SSI】

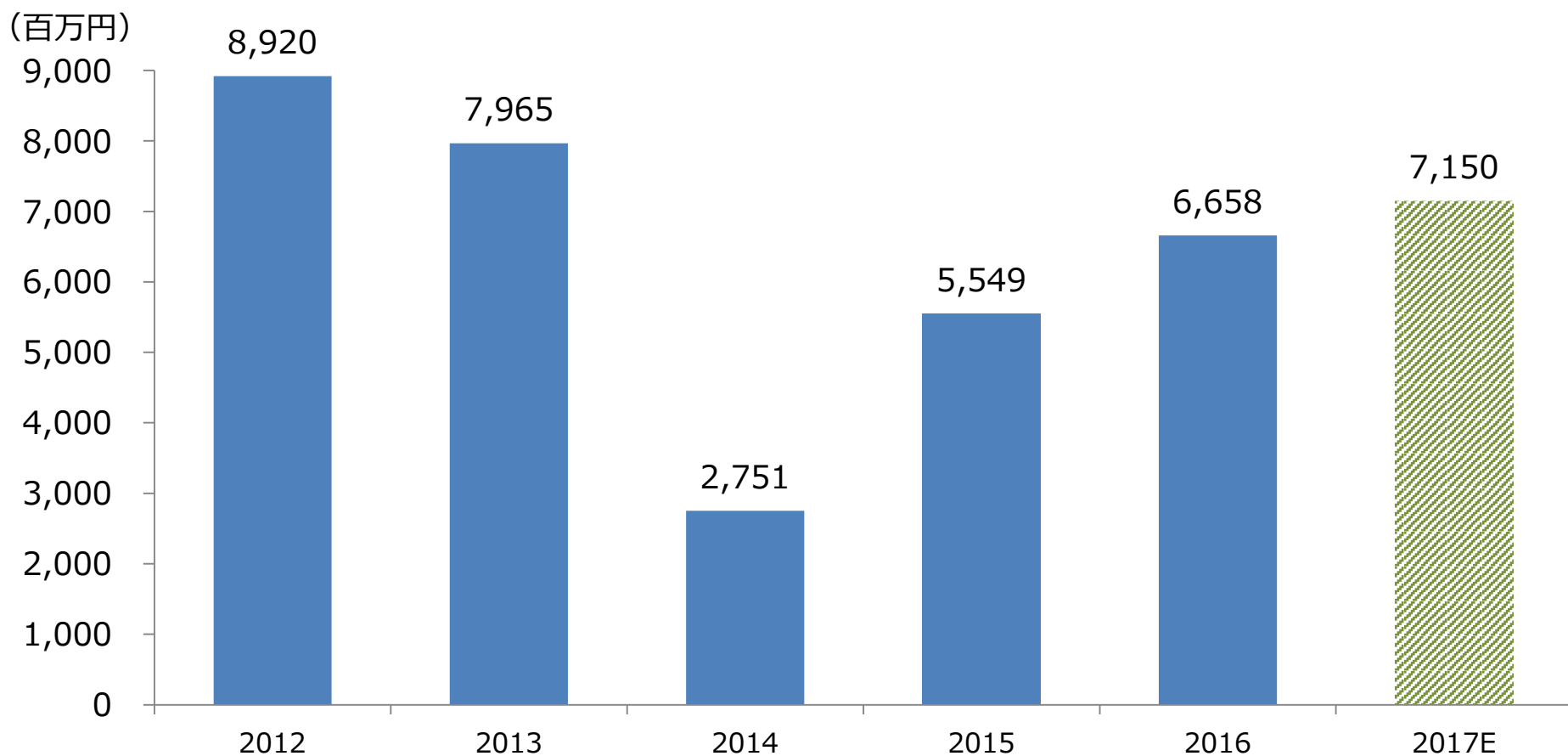
【売上高】



【営業利益】



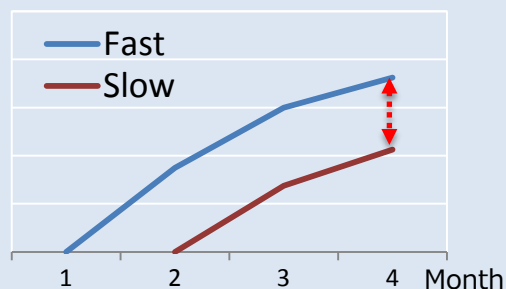
受注高の推移【SSI】



SMO事業における取り組み

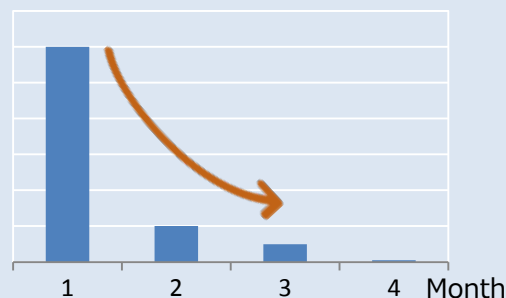
PM強化---

試験**早**期スタート



質の向上---


逸脱件数**低減**



Compliance

SR*の営業力強化---

基幹HP**増加**

- 基本提携契約数UP 
- TA (Therapeutic Area)に特化

* Site Relation

Evolution & Future Innovation



IPM事業

Innovative Pharma Model

IPM (Innovative Pharma Model) 事業一既存製品

国内製薬企業



国内製造販売権

製薬企業の戦略から外れた製品
特に長期収載品、オーファンドラッグなど



CMIC

Pharmaceutical Value Creator

Marketing Approval Holder (MAH)

製造販売業許可取得（医療用医薬品、一般用医薬品、医薬部外品、体外診断薬、化粧品医療機器）
開発、製造、販売等、シミックグループが持つすべての機能を活用

承継
届出

厚生労働省

供給

医療機関 / 患者

IPM (Innovative Pharma Model) 事業一新製品

新たなビジネス戦略オプション

日本に拠点を持たない海外製薬企業、アカデミア、バイオベンチャー



国内製造販売権

医薬候補品



CMIC

Pharmaceutical Value Creator

Marketing Approval Holder (MAH)

製造販売業許可取得（医療用医薬品、一般用医薬品、医薬部外品、体外診断薬、化粧品医療機器）

開発、製造、販売等、シミックグループが持つすべての機能を活用

承認申請
/ 取得

厚生労働省

供給

医療機関 / 患者



IPM事業

Innovative Pharma Model

L-FABPの現況



腎障害の進行・悪化の早期判別ができる
バイオマーカーとしての有用性が**国内外**で評価

- ▶ 体外診断薬
- ▶ 医薬品のスクリーニング
- ▶ 臨床試験への応用
- ▶ デジタルヘルスへの応用

ヒトL型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP) POCキット



2016年10月21日 発売

D001 尿中特殊物質定性定量検査実施料 : 210点

D026 1尿・糞便等検査判断料 : 34点

国内外で展開された健診事業

検尿=“KEN-NYOU (urinalysis)” program Out patients and community base screening



JICA バングラデシュ疾病管理事業



経産省AMED ベトナム腎疾患早期診断事業



企業健保データヘルス 腎ハイリスク健診事業

ベトナム経産省医工連携事業の活動

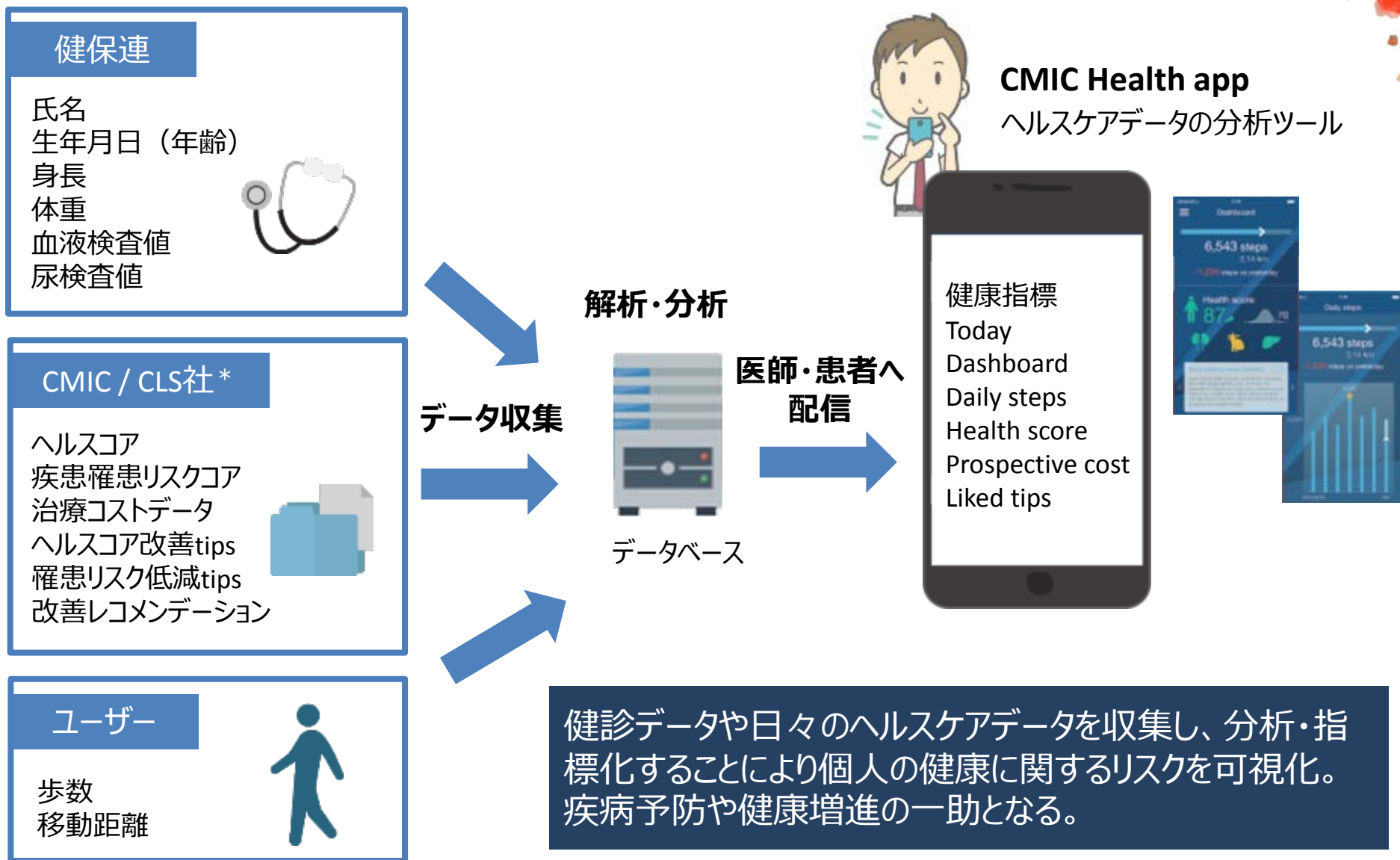


ハノイ市最大である国立バクマイ病院
ICU緊急検査部にて、L-FABP POCキット使用デモ
(2016年11月)



ハノイ市内の私立小学校にて検尿イベント
「検尿を“KEN-NYOU”へ」プロジェクト
(2016年11月)

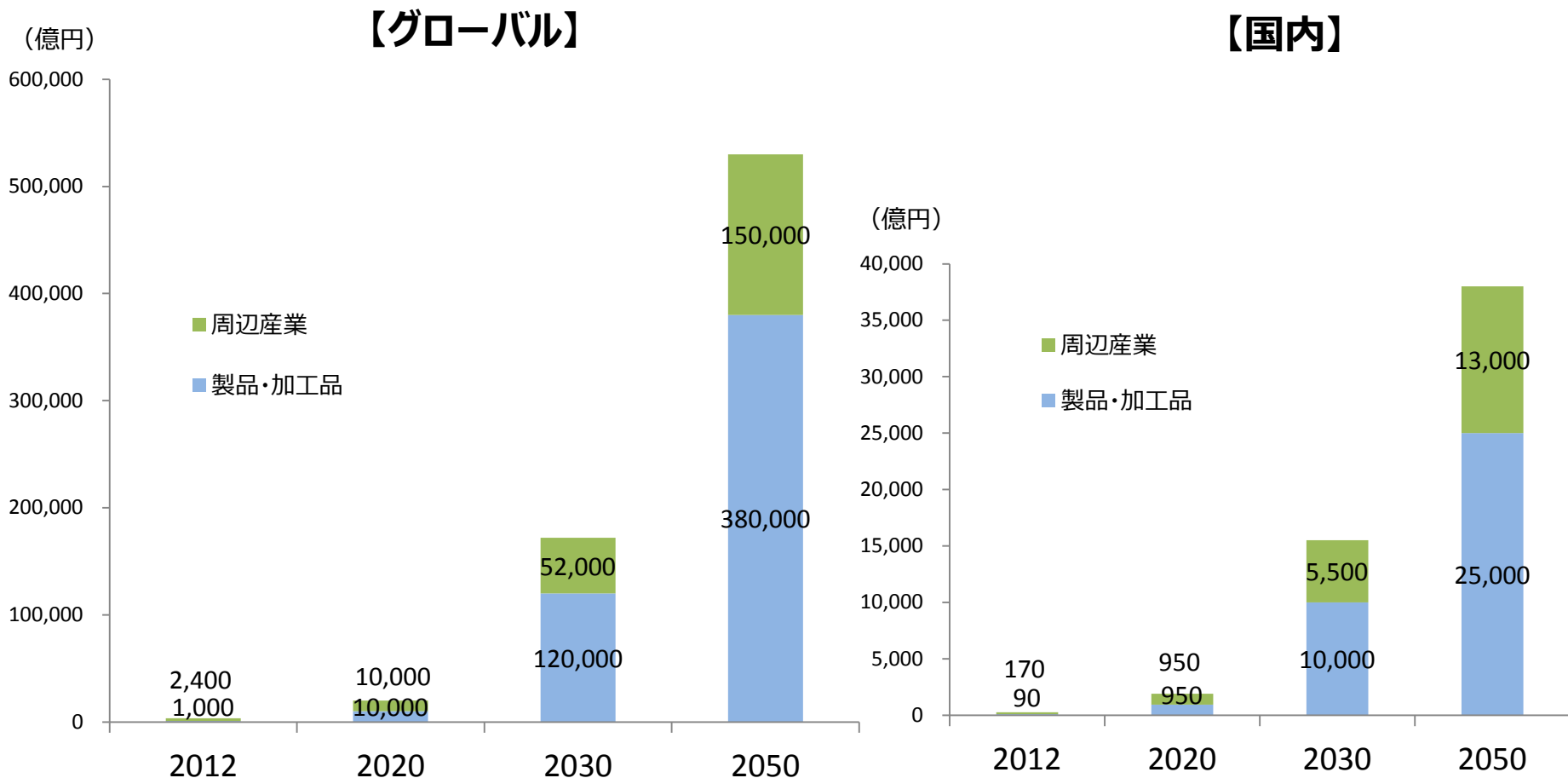
腎疾患リスク予測精度を高めたヘルスケア アプリケーション（2016AMED事業として開発中）



TOPICS



再生医療の市場規模



出典：再生医療の実用化・産業に関する研究会「再生医療の実用化・産業化に関する報告書 最終取りまとめ」（平成25年2月）

【事業背景】

- 通常の医薬品開発と異なり、製品特徴に合わせた試験・データが必要
- 治験段階へと進んだプロジェクトが増加
- 国内：バイオベンチャー、アカデミアによる開発が主体
- 海外：早期上市期待のある日本への進出に意欲的
- 規制当局とのコミュニケーションが重要



**再生医療等製品の特性と
日本の薬事制度に精通していることが必要**

シミックグループの再生医療事業への対応

【主な取り組み】

- 2015年 5月 薬事コンサル部に「再生医療グループ」設置
- 2016年 6月 再生医療の生物学的安全性試験に対応した試験新棟竣工
- 2016年 7月 再生医療・細胞治療分野におけるシームレスなサービス提供を目指した、細胞製造に強みを持つメディネットと業務提携
- 2016年10月 「再生医療臨床開発部」を設置
- 今後 人員の拡大、専門性の更なる強化



コンサルティング業務

17社から約40件の業務を受託（海外企業含む）

受託した製品の種類

- ・培養細胞（自己、他家）
- ・がんワクチン
- ・幹細胞（自己、他家）
- ・遺伝子治療用医薬品
- ・iPS細胞由来製品
- ・核酸医薬品 など

ベトナム事業



CMIC VIETNAM



CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED

Room S.31, 31F, Saigon Trade Center, 37 Ton
Duc Thang Street, District 1, Ho Chi Minh City,
Vietnam

Vistar社とは



ベトナムで薬局チェーン「Vistar Pharmacy」を運営

設立年：2015年

店舗数：**19店舗**（ベトナムで**第4位**）

GPP Chain の認証を取得（2016/8 ベトナムで3社目の薬局チェーン認証取得）

- Good Storage Practices (GSP) in March 2016
- Good Distribution Practices (GDP) in March 2016
- Good Pharmacy Practices (GPP) for each drugstore

VISTAR社を通してのベトナム事業の目的

薬事制度が未整備かつ
経済成長著しい将来有望なマーケットである
ベトナムでのビジネス基盤確立

治験ビジネス

現地当局、ヘルスケア業界、人材マーケット等に関するネットワーク作り、情報収集。

医薬品等の 許認可ビジネス

現地拠点を活用し、制度が整い次第、いち早く医薬品等の許認可ビジネスを推進。

薬局事業

成長余地が大きく、また今後CRO等CMICのコア事業の展開を図る際の親和性が高い。

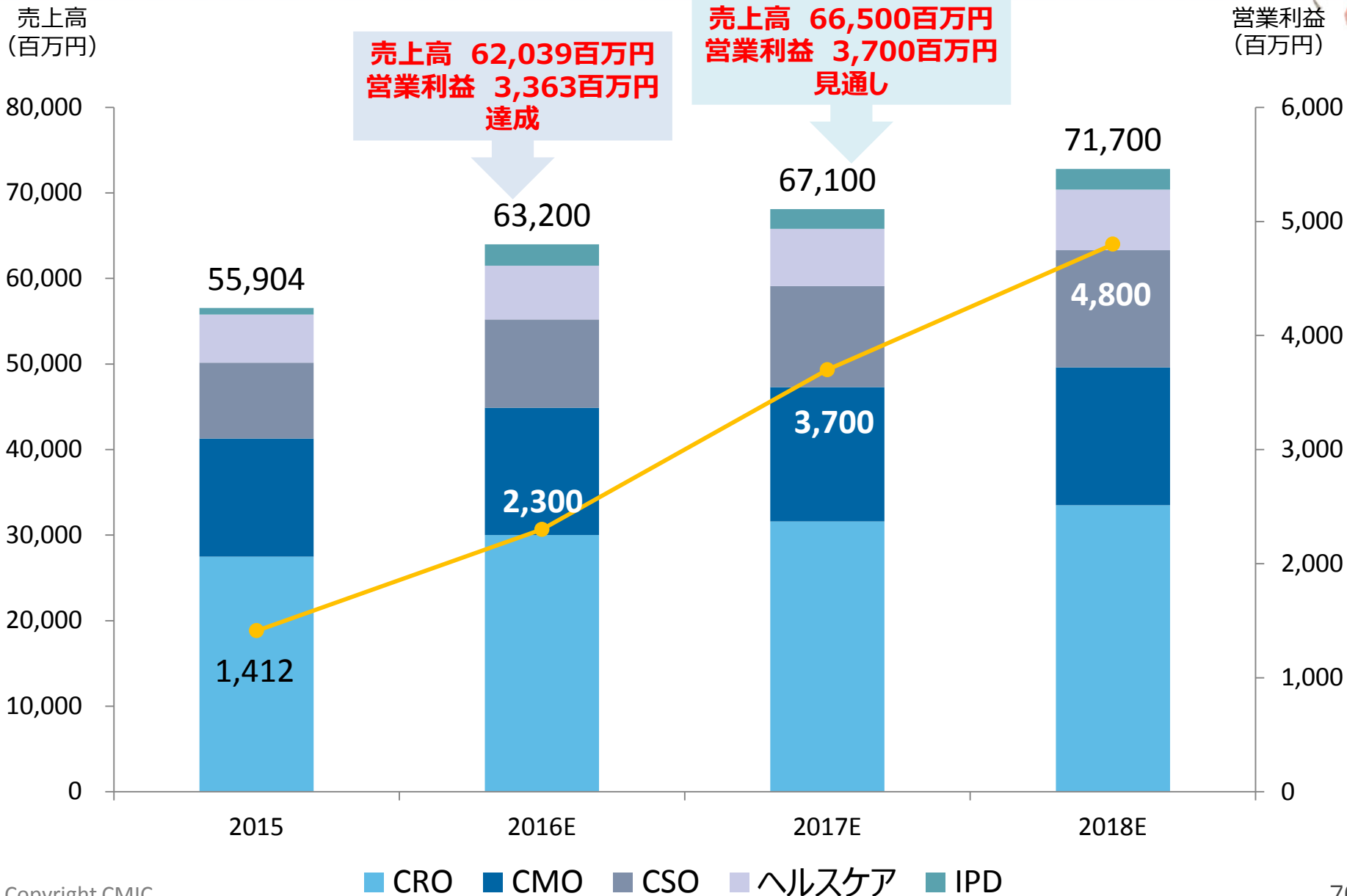
ヘルスケア ソリューション ビジネス

ベトナムは健康志向が高い一方で健康産業はまだ未開拓の部分が多い。

中期計数計画



中期計数計画 (2015年11月公表)





企業文化の確立

CMIC'S CREED

変えていく。変わらない志を胸に。



転換期であるからこそ、私たちに求められるニーズも多様化・高度化しています。

そのニーズに対応するためには、私たち自身を変えていく気概が必要です。

しかし、変えてはいけないものもあります。

それが「CMIC'S CREED」です。

「CMIC'S CREED」

私たちの決意

一度しかない人生を、年齢や性別、人種に関わらず、
誰もがその人らしくまっとうしていくために、
ヘルスケア分野に革新をもたらすことを、
シミックグループの志とする。

まばゆい成長力を開花させる幼年でも、
人生を成熟させていく老年でも、
今この瞬間を生きようとする願いは、どれも等しく尊い。
そのすべてをひとつたりとも見過ごすことなく、
正面から受けとめていきたい。

そのために私たちは、いついかなるときも
より良い未来を求める挑戦者でいたい。
そして、自己を変革し、新たな視点を獲得することで、
自らのゆるぎない情熱を価値に変えて、人や社会に提供し続けていく。

変えていく。変わらない志を胸に。



CREEDワークショップ



2016年5月 CMIC, Inc.



2016年5月 CMIC CMO USA





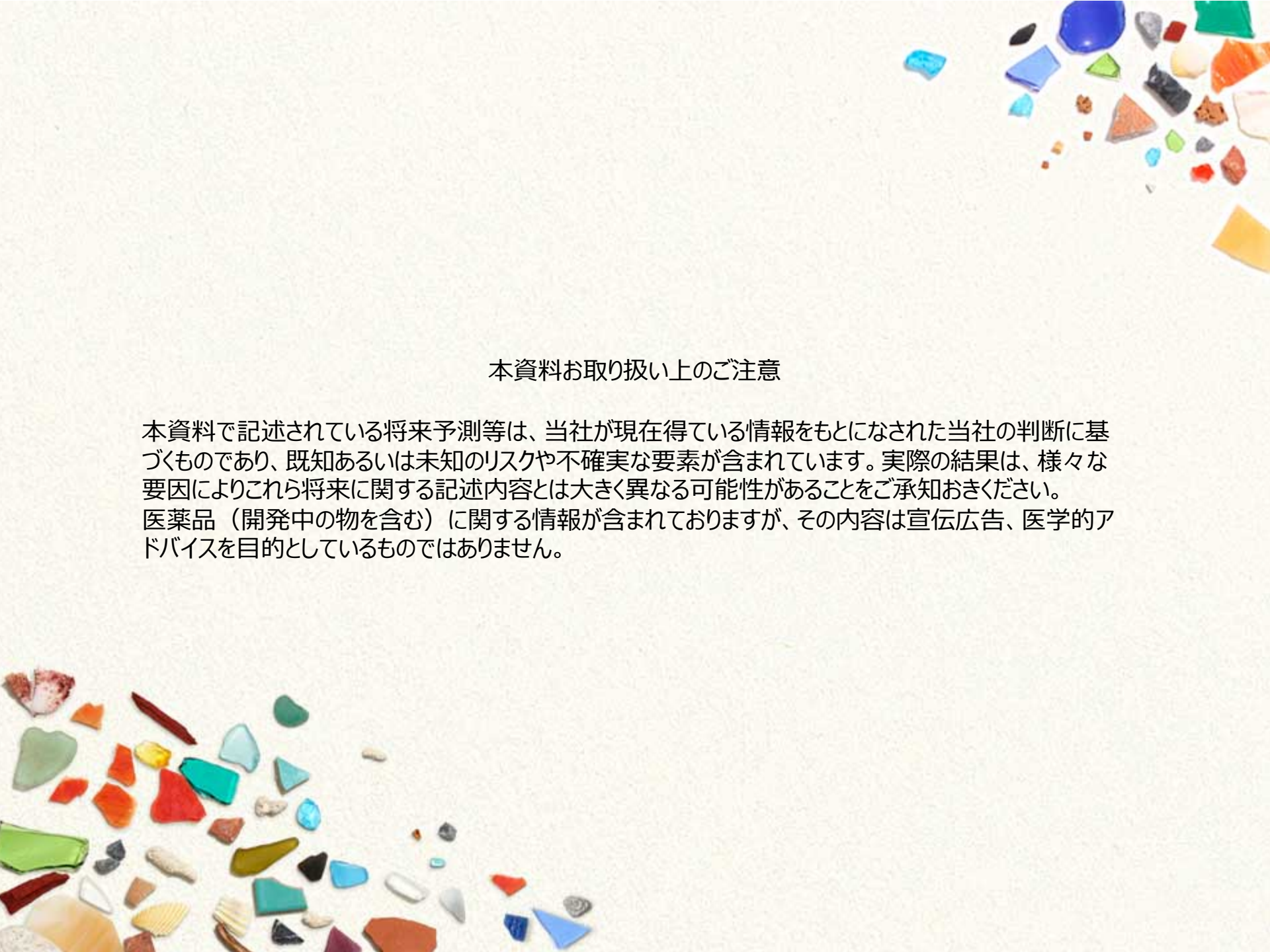
W&3C

シミックカルチャー「wellbeing」と
それを実現するための3C

Thank you for
your attention.

変えていく。変わらない志を胸に。





本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。